



ほめること・叱ること のむずかしさ

東京学芸大学助教授
田村 毅

ある日の午後、混んでいる電車の中で小学生の男子3人が車両を走り回り騒いでいた。まわりの人々が迷惑しているのは明らかである。乗り合わせた乗客のひとりであった私は、注意した方がいいのだろうとは思いながらも、あえて口を挟む勇気がなく、読んでいる本に目を落とし、気にとめないふりをしていた。すると、途中から乗って来たひとりの乗客が、走り回る子どもたちをさえぎり、はっきりとした口調で「そんなことをしたらダメじゃないか。まわりの人たちの迷惑を考えなさい」と注意した。子どもたちはその言葉を素直に受け入れ、以後静かになった。私はその様子を眺め、ほっとしたと同時に、自分自身がそのような行動を取れなかったことを恥ずかしく思った。

家族の変化

子どもを適切に叱ったり、ほめたりすることができない親が増えてきたと言われるようになってから久しい。なぜだろう。その背景には、社会の枠組みの中で親子のあり方が大きく変化したことが挙げられる。

1950年代以前は、家族の枠組みが今と比べると明確に規定されていた。親子間の序列が明確であり、年少者は年長者を敬い、子どもは親や教師にしたがう、という規範が社会の中に満ちていた。子どもが親や教師の言うことを聞かないときは、体罰も含め何らかの罰を与えるのは当然のことであった。体罰を肯定するわけではないが、体罰の是非が問われない社会では、親は自信を持って子どもたちに接することができた。年長者の優位性が絶対であったので、親や教師たちは迷うこと

なく子どもたちを叱り飛ばすことができた。おとなにとって、ある意味では楽な時代だったのかもしれない。

また、父親と母親の役割分担もはっきりしていた。厳父慈母と言われるように、厳しい父親と、愛情にあふれるやさしい母親の組み合わせが理想とされた。河合隼雄はこれを父性原理と母性原理に振り分け、日本的家族の特質として、性役割分業を学問的に裏づけた。いわゆる「親らしさ」がはっきりしていたから、自信を持って厳しさや愛情を発揮できた時代であった。

しかし、このような伝統的な家族のあり方は1950年代を境に変化してきた。終戦の混乱がとりあえず落ち着き、新しい社会のあり方が模索され、社会が高度経済成長へ突入しはじめる時代である。ちょうど、今の小学生の親たちが生まれた頃である。家族を構成する人数が少なくなり、団塊の世代以降権威性が否定され、ニューファミリーとよばれるような友愛的な家族が出現した。そこでは権威性よりも親密性が強調される。しかし実際に親密性を発揮したのは母親だけであり、父親たちはそれまで備わっていた権威性を剥ぎ取られ、親密な子どもとの関係を築くこともできないままに行き場を失ってしまった。

母子密着と父親不在

母子密着・父親不在という家族関係のアンバランスが指摘されはじめたのもちょうどこの頃である。経済成長を支える企業戦士の父親と、銃後の守りに徹する母親の組み合わせが一般的であり、家庭の中の父親像はどんどん薄れていった。戦前の家族であれば、威厳ある父親像は、たとえ父親自身が不在であっ

ても、母親などの他の家族メンバーや社会という枠組み自体から厳父のイメージを補給することができた。それすらなくなった時代を過ごした今の父親たちは、いざ、父親を演じようとしても自分が子ども時代に体験した父親像は希薄であり、子どもたちにどう接したらよいかわからない。厳父という虚像を保つために、いたずらに権威的にふるまおうと過度に叱ったり、その反対に子どもに迎合し、理不尽な要求まで認め、甘やかす父親たちも少なくない。

母親たちは夫の不在を補うために、子どもと密着した。母親は子育てに全責任を負われ、次世代の戦士を育成するため、子どもたちに過剰にかかわってきた。子どもを適切に叱ったりほめたりするということは、相手をひとりの人格を持った他者として認めることが前提となる。しかし、子どもとの心理的距離が近すぎると、親子間において自他の区別がつかなくなり、客観的他者として冷静に判断できなくなってしまふ。母子一体感の幻想のために、母親は子どもの心情を自分のことのように共感できるばかりではなく、母親の持つフラストレーションが簡単に子どもに投影されてしまふ。このように、母子が感情的に巻き込まれている状態では、冷静に叱ったりほめることはできず、母親の不安や欲求不満を、理不尽に叱ったり過度に干渉することで解消したり、逆に母親の自己愛を子どもへの過保護によって満たそうとする。

ほめすぎ・叱りすぎの不安

保護者と話していて、どれくらいほめたらよいか、叱ったらよいかと質問されることがよくある。日常の出来事を細かく話した後で、

「このような場合、ほめてもいいのでしょうか、叱ってもよいのでしょうか？」といった具合である。そのような質問を投げかけること自体、親が子育ての不安を抱えていることを意味するわけだが、それとは別に、現代の社会において確かにそのような迷いが生じるのも無理はない。

ほめるのはいいことだ。しかし、ほめすぎると過保護になってしまわないだろうか。あるいは、叱ることは子どもに必要なことだ。でも、それも度を過ぎると子どもを傷つけてしまうかもしれない。最近、児童虐待やアダルト・チルドレンなど、今まであまり聞きしなかった家族病理がマスコミなどを通じて流れてくる。アダルト・チルドレンとは、簡単に言うと子ども時代に家族から受けた心の傷が癒えないままおとなになり、さまざまな心の問題を引きずっている人たちのことをいう。これらのケースでは、傷つける方も、傷つけられる方も、その最中には、そのことに無自覚である場合が多い。むしろ、年月を経て成長してから昔の体験を思い出し、そのことに気がつくのである。「もしかしたら、私も気がつかないうちに子どもを傷つけているかもしれない」。この種のニュースの流布とともに、そのような不安に駆られる親が多くなってきている。

私としては「ほめてもいいのでしょうか、叱ってもよいのでしょうか？」という保護者からの質問に答えることはできない。まさにケースバイケースであるし、たとえ状況が明確になったところで、その状況で叱るべきか叱らないべきかを決定するのは保護者であり、明らかな虐待の場合を除いて、第三者が口を挟む性質のものではないと考えるからである。

むしろ、この種の質問をする保護者の立場

について考えてみよう。多くの場合、質問をするのは母親なのであるが、私は答える前に父親がそのことについてどう考えているか聞いてみる。すると、ほとんどのケースで、少なくとも母親の意識の中では父親があてにならないことが判明する。つまり父親は多忙であるか、多忙でなくても子どもや育児に関心がなく、妻が満足できる答えを用意してくれないのである。

子どもを育てることは、不安なこと、わからないことの連続である。それをひとつひとつ確認しながら手探りで進んでいくのが子育てという作業なのだ。現代のような不確定の時代には、「親はこうすべきである」という世間からの強い規範を得ることはできない。個人個人が、自ら考えて決定していくしかない。その際に重要なのが、親身になって相談できる他者の存在である。子育てに迷う母親たちは、そのようなサポートが欠如している場合が多い。ひとり孤立して子どもと向き合っている中で、日常のささいな不安も解消できずに戸惑っている。

そのことは、教師にもあてはまるようだ。担当するクラスに問題が生じても、他の教師仲間や外部の専門機関などに気軽に相談したり連携できる状況であれば、案外問題は早期に解決できる。しかし、問題がこじれたケースをよく分析してみると、担任教師が孤立している場合が少なくない。それは、実際にそのようなサポート体制に欠ける場合や、たとえ整っていても当該教師の自信のなさから、そのようなサポートを利用できない場合などさまざまである。親も教師も、孤立した状況では子どもに対して適切に接することはできない。そのことを十分に念頭に置くべきであろう。

教師たちの自信喪失

教師たちにとっても、子どもをほめること・叱ることがむずかしい時代である。今の学校は、いじめ、不登校、学力偏重、さらには学級崩壊というようにさまざまな問題をかかえ、教師の資質、さらには学校システムのあり方自体を見直すことが迫られている。

本当に教師の資質は低下しているのだろうか。昔の教師の資質と今の教師のそれを比べる体系的な手段はないわけで、この疑問に明確に答える術はない。少なくとも私自身の体験からすれば、昔も今も、優秀な教師もいたし、問題のある教師も少なからずいたように思う。しかし、昔と今とで決定的に異なっているのは、社会の教師に向けるまなざしである。以前は、聖職ほどではないにせよ、教える者としての権威性は社会から与えられていたように思う。多少不適切な教師がいても、今のようにあからさまに親やマスコミから批判されることは少なかった。内心不満を持ちながらも、それなりの敬意は払われていた。

しかし、そのような虚像はもはや通用しなくなった。市民の声は大きくなり、教師の不適切な指導や対応はどんどん批判されるようになった。教師たちは子どもたちの生活の多くの時間を任されている一方で、その言動は常に監視され、容易に批判の対象とされるという不可能なジレンマに立たされ、指導者としての自信を失いかけている。自分の個性を子どもたちに投げかけるリスクを負うよりは、マニュアルどおりの指導をしていた方が安全である。そこには、荒削りだが個性に満ちた対応はなく、親や社会からの批判の対象となりがちな、力強い叱責や賞賛は避けられ

てしまう。

学校、あるいは家族というシステム自体が崩壊しつつある。教師や親という身分自体に包含される権威性は消失した。教師、あるいは親であることで自動的に威厳を持たた時代は過ぎ去ったのである。いい親や教師を演じるためにすがることができる虚像はなくなり、本当の意味で、子どもと向かい合うときに見えてくる人間性が問われるのである。

子どもにかかわる自信

冒頭に挙げた、電車の中の風景をもう一度考えてみよう。

読者のみなさんは、あの状況で走り回る子どもたちに適切に注意できただろうか。どのような条件が整えば、実行可能となるのだろうか。

たとえば、あの子たちが見ず知らずではなく、顔見知りの子どものみであれば注意できたかもしれない。つまり、子どもたちとの距離が遠すぎず、ある程度の信頼関係ができていたかということである。あるいは、その場に居合わせたのが私ひとりではなく、だれかと同行していたらどうだったろうか。その人と相談した上で、注意できたかもしれない。つまり、子どもにかかわろうとする人が孤立しているか否かということである。

しかし、その前提には、子どもにかかわろうとするおとなが、子どもを注意したり、ほめるに足りるだけの十分な自信と確実さを備えていることは言うまでもない。

〔調査レポート〕

ほめられ体験・叱られ体験

東京学芸大学助教授 田村 毅
文教大学女子短期大学部助教授 石川 洋子



『モノグラフ・小学生ナウ』Vol.18 - 3

調査レポート

ほめられ体験・叱られ体験

要 約

調査概要

1. 調査主題 ほめられ体験・叱られ体験

2. 調査視点 子どもを育て、しつける上でどれだけほめればよいのか、叱ればよいのかの判断は、親や教師にとって永遠の課題といっても過言ではない。今回の調査では、主に親に焦点を絞り、保護者からほめられた体験・叱られた体験について、詳細に子どもたちの声を聞いた。父親や母親から、どのようなときに、どの程度ほめられたり叱られたりしているのか。親はどのようなやり方で、ほめたり叱ったりしているのか。また、叱られたりほめられたりすることに、子どもたちは納得しているのか、不満を残しているのか。子どもたちが納得のゆく叱られ方とはどんな叱り方なのか。これらについて詳細に明らかにした。また、親以外の地域のおとなたちから、どの程度ほめられたり叱られたりしているかについても調査した。

後半では、とくにひどく叱られた体験

について分析した。最近、子どもへの虐待が社会問題となりつつある。そのような現状をふまえ、子どもたちは親からひどく叱られたという体験をどの程度持っているのか。また、それはどのような状況で、どのようなやり方で叱られたのかについて、自由記述から子どもたちの生の声を拾った。

3. 調査項目 両親からほめられる状況・叱られる状況、ほめられ方・叱られ方、両親のほめ方・叱り方についてどう思うか、家庭外の人からのほめられ体験・叱られ体験、両親への評価、両親の人柄、自己像、ひどく叱られた体験（自由記述）

4. 調査時期 1998年6～7月

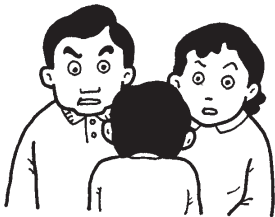
5. 調査対象 東京、千葉の小学4～6年生（9校66クラス）

6. 調査方法 学校通しによる質問紙調査

7. サンプル数 1,828名（有効回答数1,791名）

1. 母親からよく叱られる理由は、親に対する態度（たとえば「親に何度呼ばれても返事をしなかったら」）や家庭生活上のこと（たとえば「家のお金を持ち出して買い食いをしたら」）や勉強、生活習慣に関することなどが多い。その一方で、最近の親の叱ろうとしない傾向もみえる（図1-1）。

2. 父親が叱るときと母親が叱るときは、ほとんどの項目で大きな差がない。母親の役割、父親の役割といった分業は昔ほど明確でなくなっている（図1-1、図1-2）。



3. 子どもたちは母親からわりとよくほめられている。たとえば「運動会のかげっこや水泳で1番になったら」「学校や塾のテストで100点をとったら」のような達成にかかわる項目、あるいは学習に関する項目などである。勉強や家庭でのことに比べて、社会的な項目でほめられる子は少ない（図1-3）。

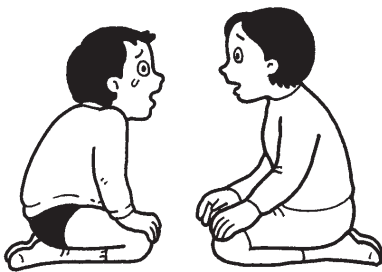


4. 親の叱り方は、口で注意することが最も多く、母親からは子どもたちの7割、父親からは子どもたちの5割を占める。中でも、長時間くどくどと叱られたり、体罰、無視などの精神的、身体的に苦痛を伴う叱り方を「よく・ときどき」受けている子は2割弱から3割いる（図2-1）。

5. 親のほめ方は、「えらかったね」など言葉での評価が多い。その一方で、お金を与えたり物を買って与えるなど報酬と引き換えのほめ方も多い。とくに、父親にこの傾向が強い（図2-3）。

6. ほめられることによって「次ももっとほめられるようにがんばろう」と、ほめられる体験がより積極的な姿勢を生み出している子どもが全体の3分の2を占める。その一方で、「何をしてもあまりほめてもらえない」と親に対する不満を表明している子も3割いる(図2 - 4)。

7. 7割の子どもたちが、「親が叱るときに、子ども側の言い訳や理由を聞いてくれる」と答えている。叱られる側の子どもたちにしても、親はそれなりに理由を聞いてくれて、妥当な叱り方をしていると判断している場合が多いようである(表2 - 1)。



8. 子どもたちにとって、母親から口で注意されることはごく当たり前のことであり、そのことで母親を嫌ったり、母親に対する評価が下がるということはありません。むしろ母親から口で注意されることもあまりない、母親との関係が希薄な方が、子どもたちにとって母親のよいイメージを持つことが難しくなるようだ。しかし父親の場合は、あまり注意されないことが、子どもたちにとって高い評価につながる(表2 - 3 ~ 表2 - 6)。

9. 父親は娘よりも息子を多く叱り、息子よりも娘を多くほめる。一方、男子は同じことをしてもより強く叱られ、またほめられることは少ない。しかし性別による接し方の差異は、予想したほど大きくなかった(表3 - 1 ~ 表3 - 3)。

10. 学年が上がるにしたがい「塾やけいごごとをさぼった」の1項目のみ、たくさん叱られるようになる。受験など親の勉強に対する期待が高くなるためと思われる。その他の多くの項目では、学年が上がるにしたがい叱られなくなっている。一方、子ども側は学年が上がるにしたがい、親の叱り方をうるさいと思い、かえってやる気がなくなると答え、また、親がひどくにくらしくなるといった親への反感や憎しみを表明する割合が高くなっている(表4 - 1、表4 - 3 ~ 表4 - 5)。

11. 親の叱り方を「うるさいと思う」「かえってやる気がなくなる」「親がひどくにくらしくなる」とする子は、家庭で食事のときに話をしていない子が有意に多い(表5 - 1)。



12. 母親がたたいたり体罰をする場合には、父親も同様に体罰を与えている。逆に母親が「えらかったね」とほめる場合には、父親も有意に同様のほめ方をしている(表5 - 6、表5 - 7)。

14. 親からたたかれたことは、8割以上の子どもたちが体験している。その他にひどく叱られたときの手段としては家の外に出す、言葉による叱責、行動の制限、存在の無視などがある(表7 - 1)。

13. 家庭外の地域で叱られることは少ない。「道路でふざけていて叱られた」子は半数いるが、他の項目では、叱られるべき行為をしても他人から一度も叱られていないことが多い。逆に、他人にほめられた体験は高い。7割前後が「お使いなど手伝いをしてほめられた」「よその小さい子と遊んであげてほめられた」「近所の人にきちんとあいさつができてほめられた」などの体験を持つ(図6 - 1、図6 - 2)。

15. ひどく叱られたときのことを振り返って、「ひどすぎる」と評価しているのは4分の1にも満たない。むしろ、「自分が悪かったのだから仕方がない」と反省したり、中には「あのくらい叱られてよかった」と、叱られた体験を肯定的に回顧している場合も15%ほどみられる(表7 - 4)。



16. 親からたくさんたたかれるほど、子どもは「親が自分の気持ちをわかってくれない」「親は自分のことをあまり聞いてくれない」と感じている(図7 - 2、図7 - 3)。

はじめに

子どもを叱れない親が増えている。ほめながら育てる、あるいは子どもの自主性を尊重することだけが強調されてきたことの裏返しとして、必要なしつけさえ何をどうすればいいのか自信を失い、しつけに躊躇する親が増えてきた。

また逆に、親の不適切な叱り方や虐待の問題も生まれてきている。少子化が進んでわが子への期待が過剰となり、子育ての成果が成績という1つの指標に集約されるかのような状況、あるいは、親の子育ての経験不足や忍耐力、包容力のなさ、子育ての援助者がいないこと、または経済や夫婦間の問題など、様々な条件の下でしつけの問題が生じている。

一方、子どもは体験の中で成長していく。体験という言葉からは、生活技術の習得や自然体験、対人的スキルなどが想起されるが、快・不快、喜びや悲しみ、怒りや嫉妬といった情緒的体験も、人生や人間を教える重要な体験であろう。中でも「叱られる」という体験は、社会のルールや物事の道理を教えてもらいながら、「許す・許される」という関係

の中で、心の温かさを増していく行為ではなかるうか。

しかし、「叱られる体験」が生きる土台には、自分が愛されているという安定感と「人から認められている」という自信や自尊心が必要である。土台作りをなおざりにして、叱る内容や叱り方ばかりが議論されがちであるが、子ども自身に、自分に対する自信や他人への信頼感がなければ、親や他人の苦言に耳を傾ける心のゆとりは生まれにくい。そして、この自信や自尊心につながるものが「ほめられ・認められる体験」であろう。「ほめられ体験」と「叱られ体験」は、子どもの心の成長に際してどちらも必要であり、またその上手なバランスの取り方も求められる。

今回の調査は、現代の子どもの「ほめられ体験・叱られ体験」の様相や、子どもからみたそうした行為の意味などを探っていこうとする。なお、調査対象は小4から小6までの1,828名（有効回答数1,791名）、調査時期は1998年6～7月であった。

1

何をほめられ、何を叱られているか



まず最初に、子どもたちは何をどう叱られ、また何をどうほめられているのだろうか。

図1-1によれば、「1. 家のお金を持ち出して買い食いしたら」の項目で、母親から一番よく叱られると思っている。「とても強く叱る」が61%、「かなり叱る」を合わせると85%で、買い食いよりも「家のお金を持ち出す」、つまり泥棒の始まりという意識から強く叱るのであろう。次が「2. 叱られて親に『うるさいな』と言ったら」で、「とても強く叱る」が45%。また「6. 机や部屋を何日も散らかしたままにしたら」「8. 親に何度呼ばれても返事をしなかったら」など、親に対する態度や家庭生活上のこと、「3. 塾やけいこごとをさぼったら」「4. 12時頃まで起きてテレビを見ていたら」の勉強や生活習慣に関する項目が上位を占めている。

しかし、「10. 嫌いなおかずを一口も食べなかったら」も「11. よそ見をしながら自転車で乗っていたら」も「12. 言いつけられた手伝いを忘れたら」も、あまり叱られていない。最近の親の叱ろうとしない傾向もみえる。

また、「7. レストランで大声を出してふざけていたら」で、「とても強く叱る」親は16%いるが、その他の社会的な項目、「14. 親が近所の人にあいさつをしたのに知らん顔をしたら」「15. 電車の中でお年寄りに席をゆずらなかったら」では数値が下がり、「とても強く・かなり叱る」を合わせても16~30%と、社会的な項目については、親はさらに叱っていない。

次に図1-2で、父親が叱るときを母親と比較しながらみている。ほとんどの項目で、父親に叱られる度合いは母親と同程度である。父親が母親よりも少し強く叱っているのは、「2. 叱られて親に『うるさいな』と言ったら」「8. 親に何度呼ばれても返事をしなかったら」などの、いわば親の権威にかかわる場合と、「7. レストランで大声を出してふざけていたら」の社会的マナーの項目であるが、「とても強く叱る」父親は母親に比べて数%多いだけで、叱り方に両親間の差はわずかである。母親役割、父親役割の分業は、昔ほど親たちの間にはなくなってきている。

図1 - 1 母親が叱るとき

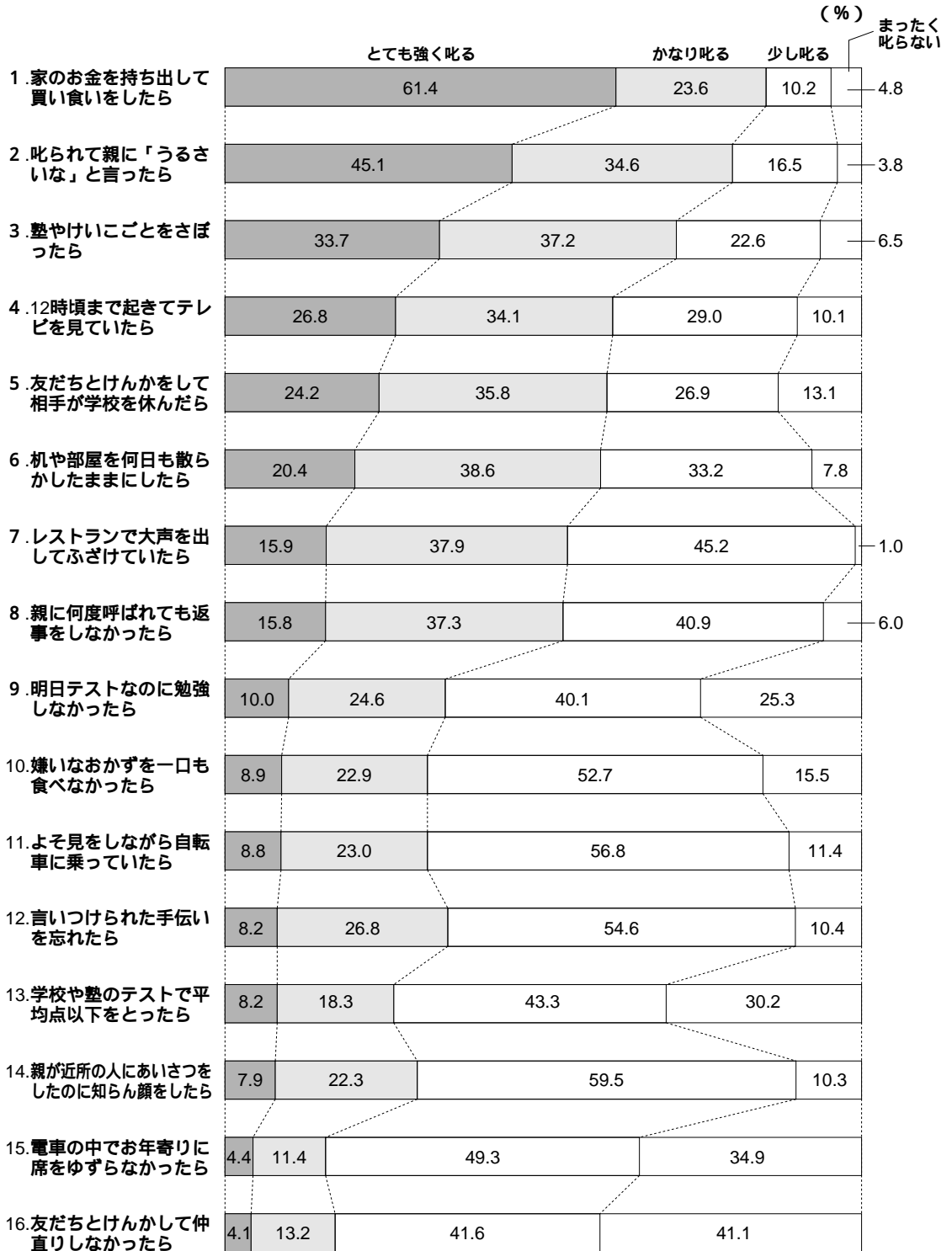
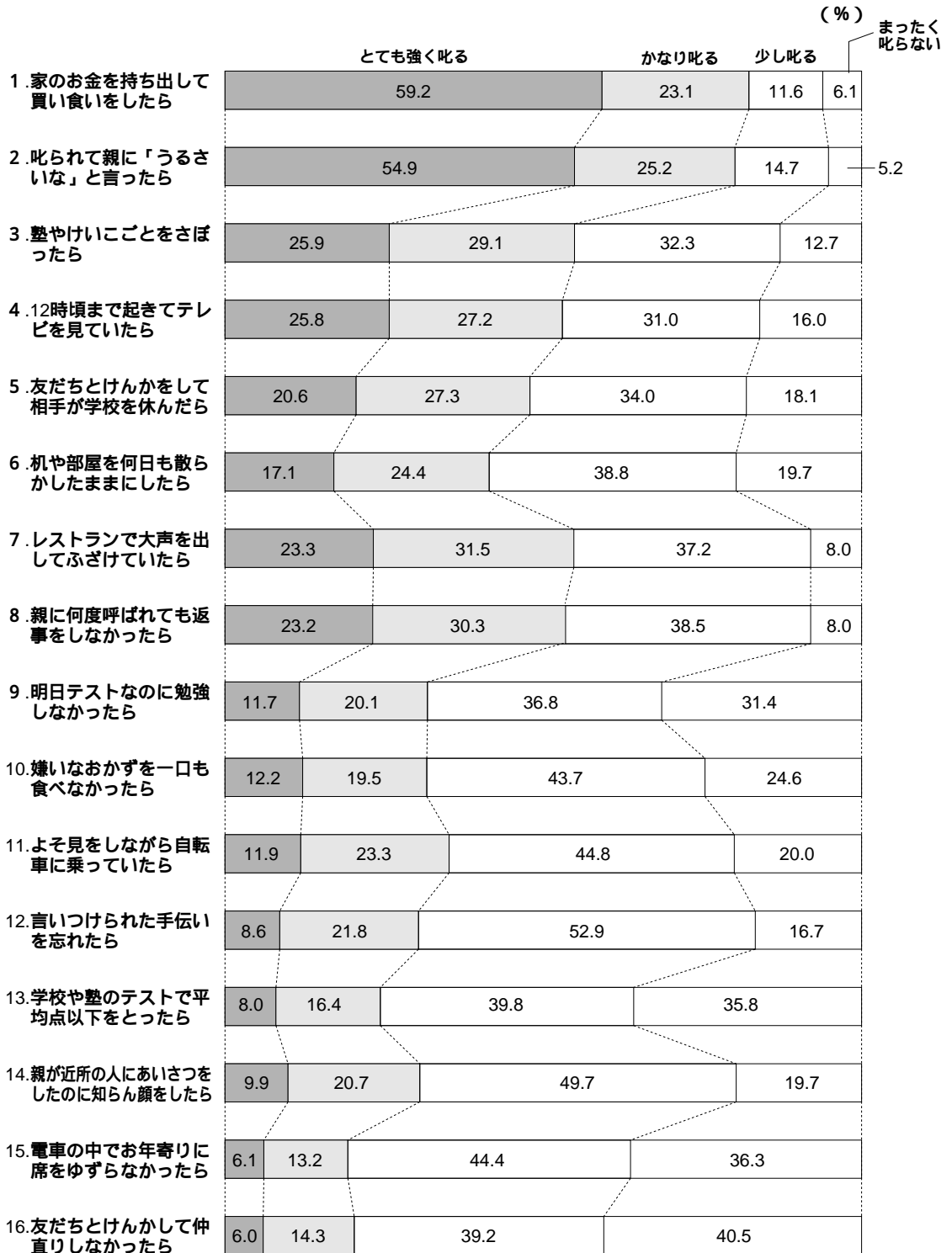


図1-2 父親が叱るとき

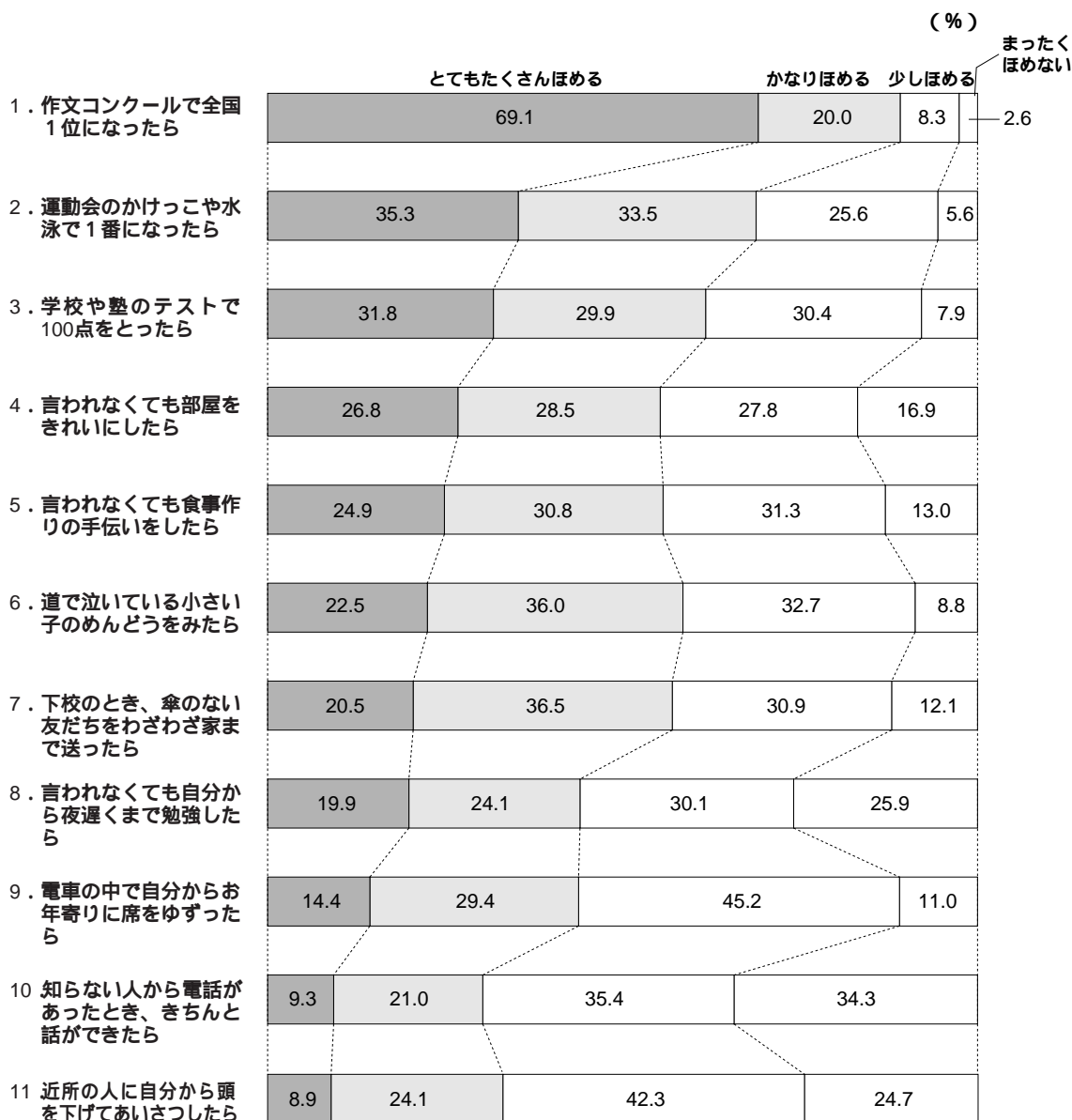


次にほめ方をみてみよう。図1-3によれば、子どもたちは母親からわりとよくほめられているといえそうだが、内容をみると、「1. 作文コンクールで全国1位になったら」「2. 運動会のかけっこや水泳で1番になったら」「3. 学校や塾のテストで100点をとったら」のような達成にかかわる項目、ある

いは学習に関する項目が上位を占めている。

次いで「4. 言われなくても部屋をきれいにしたら」「5. 言われなくても食事作りの手伝いをしたら」など、家庭生活上の項目が続くが、「とてもたくさん・かなり」ほめられる子を合わせても半数強である。ほめられる体験がとても多いとまでは言えそうもない。

図1-3 母親がほめるとき



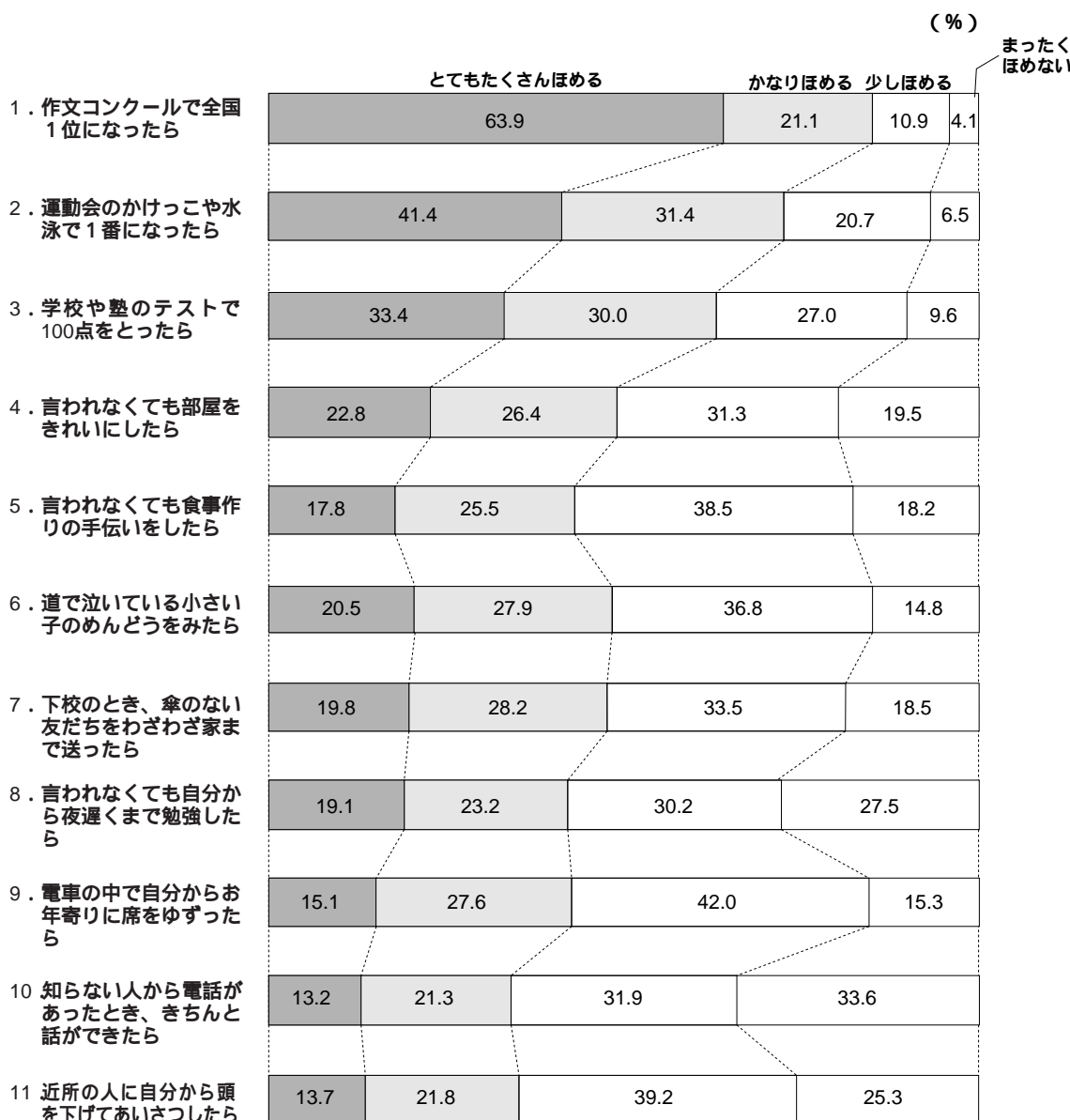
他の社会的な項目「6.道で泣いている小さい子のめんどうをみたら」「9.電車の中で自分からお年寄りに席をゆずったら」「10.知らない人から電話があったとき、きちんと話ができたら」「11.近所の人に自分から頭を下げてあいさつしたら」になると、「とてもたくさんほめる」母親は2割以下で、こう

したことでほめられる子は少ない。

さらに図1-4で、父親のほめ方をみても母親の傾向とほぼ同じで、またここでも、両親の役割に差は少ない。

全体としても、叱る場合と同様、勉強や家庭でのことに比べて、社会的な項目でほめられる子は少ない。

図1-4 父親がほめるとき

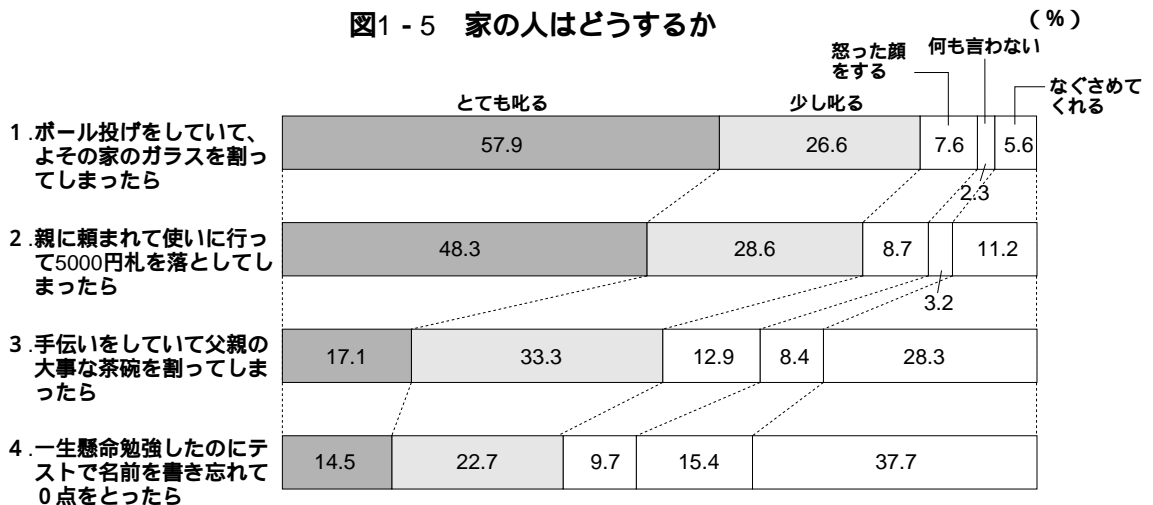


次に、もう少し微妙な状況を想定してみよう。「手伝いをしない、勉強をさぼる、家のお金を持ち出す」など、子どもに悪意があったり、やろうとしていること自体が好ましくないときには、親が叱るのは当然だろう。しかし、子どもの行為そのものはとくに悪いことではなくて、むしろ努力したが期せずして好ましくない結果になってしまったような状況では、親が叱るべきかそうでないか微妙なところである。

図1-5をみてみよう。やろうとしたこと自体は悪くはないが、結果として好ましくないことをやってしまったとき、家の人はどうするかを尋ねたものである。「ボール投げをしていて、よその家のガラスを割ってしまったら」のように、遊んでいて人に迷惑をかけ

たような場合は、子どもたちも叱られるべきことと認識している。あるいは、お金を落としてしまうと、たとえそれが親から依頼されたお使いであっても、許されるべきことではないのであろうか。ほぼ5割の子どもたちが、とても叱られると答えている。それらに比べると、「一生懸命勉強したのにテストで名前を書き忘れて0点をとった」とき、「とても叱る」割合よりも「なぐさめてくれる」親の方が多くなっている。テストという重要な機会ではあるが、名前を書き忘れるという単純なミスによって、自分自身が被害を被るわけである。それは、親から責められることというよりは、なぐさめられることと考えるようである。

図1-5 家の人はどうするか



2

親のほめ方・叱り方について



前章でみてきたような「ほめられ体験・叱られ体験」の中で、このような両親の「ほめ方・叱り方」を子どもたち自身は、どう受け止めているか。ほめる・叱るが、子どもにとって意味のある体験となっているのだろうか。

図2-1は母親と父親が、それぞれどんな叱り方をしているのかを尋ねたものである。母親から叱られる場合、「1. 口で注意される」ことが「よくある」が70%とほとんどだが、「よくある」の数字をみていくと、「2. どなられる」26%、「3. 言葉で長い時間ずっと、くどくどと叱られる」16%、「4. たたかれたり体罰される」13%で、「5. 無視される」も8%ある。

中でも、長時間くどくどと叱られたり、体罰、無視などの精神的、身体的に苦痛を伴う叱り方を「よく・ときどき」受けている子は2割弱から3割いる。子どもの行為にもよるだろうが、このような叱り方を頻繁にしても果たして効果があるのだろうか。ときには虐待の範疇に踏み込んでいるケースも考えられ

る。父親の叱り方も母親の結果と同様である。「1. 口で注意する」ことが「よくある」は、母親の方が約20%も多いが、「どなる、長時間くどくどと叱る、たたく」などの体罰では、両親間でほとんど差がない。ふだんのこまごまとした日常生活上の注意は、父親よりも母親が役割としているようであり、また父親の叱り方のスキルのまずさもありそうだ。

では子どもたちは、この叱られ方をどうみているのだろうか。図2-2をみると、「1. これから叱られないようにがんばろう」「2. 叱られても仕方がない」と「いつも・ときどき」思う子、つまり、自分の非を認め、叱られたことを率直に受け止めて、今後への積極的な姿勢をみせる子は7割前後いる。この年齢の子どもには、おおむね「叱る」ことの意味がありそうだ。

しかし他方で、「3. かえってやる気がなくなる」「4. うるさいと思う」「5. 叱りすぎだと思う」と反発や苛立ちを強くみせる子も「いつも・ときどき」を合わせると約半数

に達する。また、「6. 親がひどくにくらしくなる」と、親に対する憎しみを表明する子ども3割ほどいる。

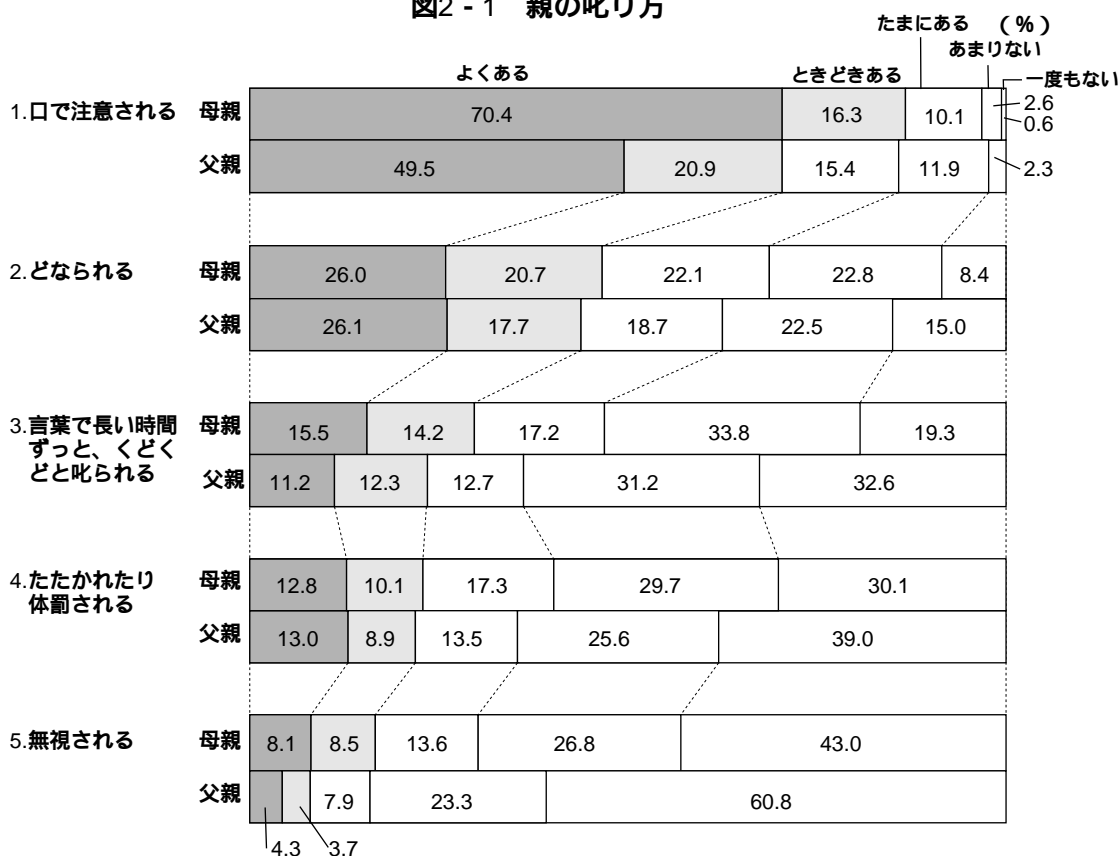
子どもにとって「叱られる体験」はむろん必要だが、必要以上の苛立ち、あるいは心に傷を負わせるような叱り方では意味がないであろう。1人1人の子どもの心に届く叱り方を個別にみきわめる必要がある。叱る・ほめるは、まことに難しい作業である。

次にほめ方をみてみよう。図2-3で母親のほめ方をみると、「1.『えらかったね、よかったね』と言ってくれる」のように、言葉

での評価を「よく・ときどき」されている子は、合わせて65%いる。こうした言葉は子どもにとって、効果的で意味のある励まし方ではなからうか。しかし、これらの言葉を親から「あまり・一度も」言われていない子ども15%ほどいる。

また、「2. ごほうびにどこかへ連れて行ってくれる」「3. お金をくれたり欲しい物を買ってくれる」が「よく・ときどき」ある子が約25%いる。子どものどんな行為に対しての報酬かは尋ねていないが、報酬と引き替えというほめ方は、ときには有効

図2-1 親の叱り方



だろうが、この数字はやや高すぎるようにも思われる。同様に父親のほめ方をみると、「ごほうびにどこかへ連れて行ってくれたり、欲しい物を買ってくれる」というほめ方は、母親より若干多くなっている。先にみた、父親の方が口で注意する頻度が少ないことと合わせて考えると、父親は子どもにとって母親より得な「役割」をとっているようだ。なお、両親とも他人の前で自慢するというほめ方はほとんどしていない。

以上のような母親、父親のほめ方について子どもがどう思っているかを尋ねたものが、

図2 - 4である。「1.次ももっとほめられるようにがんばろうと思う」と、ほめられる体験がより積極的な姿勢を生み出している子は、「いつも・ときどきそう思う」を合わせて67%。発達段階にもよるが、ほめられることが意欲や自信につながっているようである。他方で「3.何をしてもあまりほめてもらえない」の項目に、「いつも・ときどきそう思う」と、親に対する不満を表明している子ども3割いる。

また、叱るときに、子ども側の言い訳や理由を聞いてくれるかについて尋ねた。

図2-2 母親・父親の叱り方について

	(%)			
	いつもそう思う	ときどきそう思う	あまりそう 思わない	ぜんぜんそう 思わない
1.これから叱られないように がんばろうと思う	34.5	40.1	16.0	9.4
2.叱られても仕方がないと思う	25.1	42.9	19.8	12.2
3.かえってやる気がなくなる	20.4	30.1	26.4	23.1
4.うるさいと思う	18.5	30.7	28.9	21.9
5.叱りすぎだと思う	12.5	36.8	35.4	15.3
6.親がひどくにくらしくなる	11.0	18.1	30.0	40.9
7.親の機嫌が悪いから叱られて いると思う	9.3	27.0	30.8	32.9

図2-3 親のほめ方

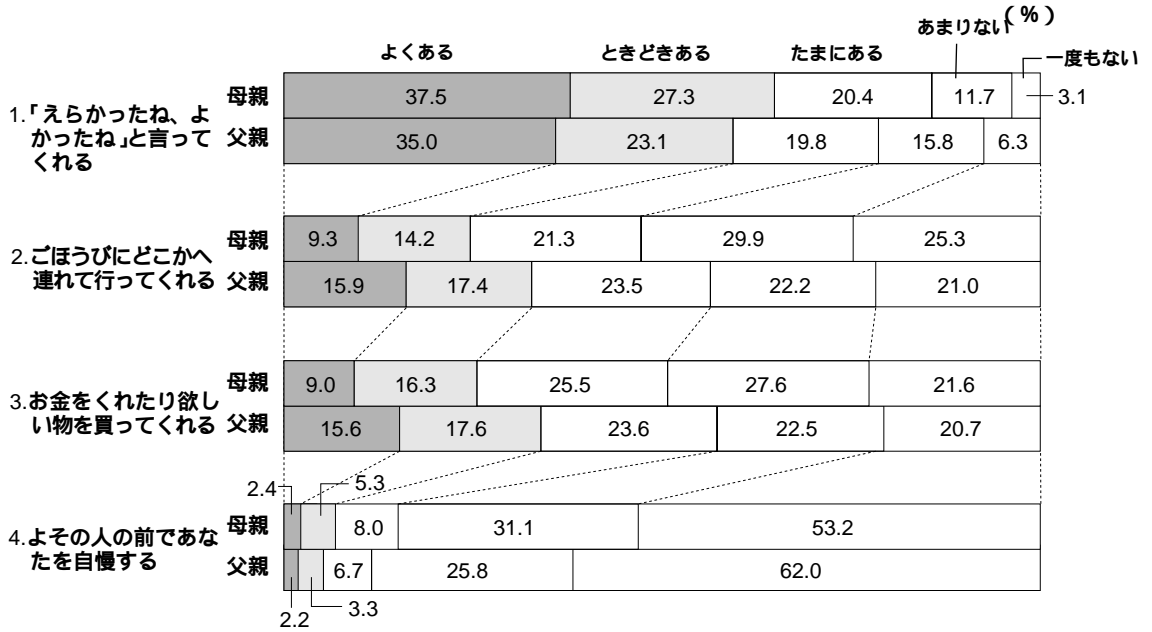


図2-4 母親・父親のほめ方について

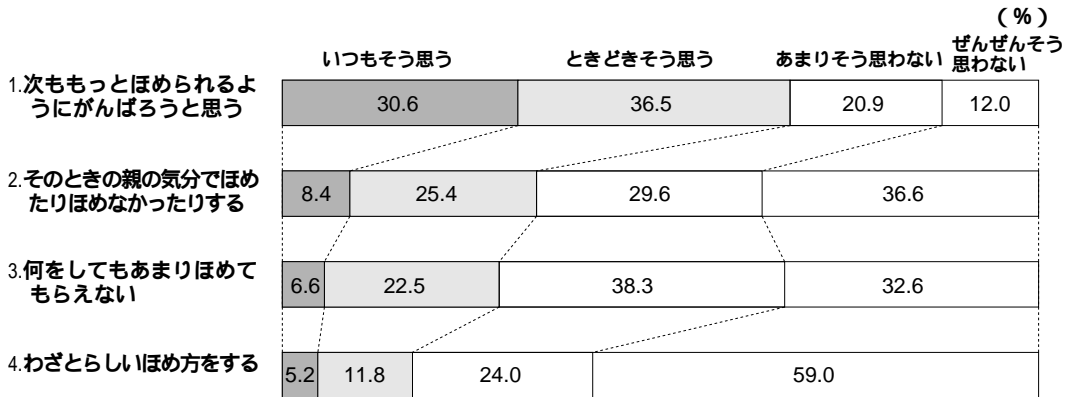


表2 - 1でみるとおり、母親も父親も、ほぼ7割の子どもたちが「なぜそんなことをしたか、ていねいに聞いてくれることが多い」と答えている。叱られる側の子どもたちには、親はそれなりに理由を聞いてくれて、妥当な叱り方をしていると判断している場合が多いようである。

次に、子どもにとってショックなことがあり学校に行きたくないときに、親はどう反応するか、役立つことを言ってくれるかを尋ねてみた。

表2 - 2のとおり、「いつも」と「ときどき」を合わせると、7割以上の子どもたちは自分が辛いとき、親は役に立つことを言ってくれると、肯定的に評価している。しかし、母親と父親を比べてみると、母親の方が10%ほど高くなっている。より母親に信頼

をおいているということであろう。また、親には「相談したくない」というケースは1割前後とそれほど高くはないものの、母親に比べると、父親の方が高い。父親との関係がより希薄であることが、ここからもうかがえる。

では子どもたちは、親からの叱責をどう評価しているのだろうか。「口で注意される」ことは子どもたちにとって日常茶飯事の出来事である。図2 - 1にも挙げたように、母親からは子どもたちの7割が、父親からは子どもたちの5割が「よく（頻繁に）口で注意される」としている。一方、あまり親から口で注意されない子どもはまれである。母親から「あまり・一度も注意されない」子どもは3%にしかすぎず、父親からはもう少し多くて1割を超えている。

表2-1 叱るときに、言い訳や理由を聞いてくれるか

	(%)	
	母親	父親
何も聞いてくれないで叱ることが多い	30.9	29.3
なぜそんなことをしたか、ていねいに聞いてくれることが多い	69.1	70.7

表2-2 学校に行きたくないとき、親は役立つことを言ってくれるか

	(%)	
	母親	父親
いつも役に立つことを言ってくれる	41.3	32.5
ときどき役に立つことを言ってくれる	37.3	36.5
あまり役に立つことは言ってくれない	10.2	14.4
話を聞いてくれない	3.6	4.6
相談したくない	7.6	12.0

子どもたちは親から叱られることを好まないが、他方、親から注意されることは、親子のコミュニケーションの1つとしても考えられるので、あまり親から注意されないのも、子どもたちにしてみれば不満足に感じるかもしれない。それを示すのが、次の表2-3である。

これは、親からの叱責の結果、子どもたちは親をどのように評価しているかをみたものである。母親から口で注意されることが多い子も少ない子も、「役に立つことを言ってくれる」と肯定的に母親を評価しており、約4割の子どもたちが、もし学校に行きたくないと思ったとき「役に立つことをいつも言ってくれるだろう」と母親のことをとらえている。

同様に、表2-4に示したように、母親のことを「好き」と評価することも、母親からの叱責の量にそれほど左右されることなく、6割前後の子どもたちが母親のことを「とても好き」と答えている。しかし、口で注意されることが「あまりない」と答えた少数の子どもたちは多少異なっている。彼らは、母親が「役に立つことをあまり言ってくれない」が21%とほかに比べて高い(表2-3)。また、母親のことを「とても・わりと好き」とする割合が低く、それほど好きではない「ふつう」とする割合が高くなっている(表2-4)。

このような傾向は、母親から頻繁に口で注意される子どもたちにはみられない。子ども

表2-3 母親から口で注意される頻度 × 役に立つことを言ってくれるか (%)

		いつも言ってくれる	ときどき言ってくれる	あまり言ってくれない	その他
口で注意されることが…	よくある	40.9	36.8	10.2	12.1
	ときどきある	39.7	41.5	11.0	7.8
	たまにある	48.1	36.5	5.9	9.5
	あまりない	37.2	25.6	20.9	16.3

「一度もない」はサンプル数が少ないため省略した(以下表2-6まで同)

表2-4 母親から口で注意される頻度 × 母親が好きか (%)

		とても好き	わりと好き	ふつう	その他
口で注意されることが…	よくある	59.3	16.5	20.7	3.5
	ときどきある	62.8	19.3	16.8	1.1
	たまにある	59.8	15.8	21.5	2.9
	あまりない	57.8	8.9	26.7	6.6

たちにとって、母親から口で注意されることはごく当たり前のことであり、そのことで母親を嫌ったり、母親に対する評価が下がるということはあまりないようである。むしろ、母親から口で注意されることがあまりないという、母親との関係が希薄な子どもの方が、よき母親のイメージを持つことを難しく感じているようだ。

では、父親の場合はどうだろうか。表2-5にあるように、母親に比べれば「いつも役に立つことを言ってくれる」頻度は低いが、母親の場合と違って、父親から「口で注意されることがあまりない」子どもの方が、役に立つことを父親から多く聞いているようである。表2-6をみると、「父親を好きか」についても同様に、あまり注意をしない父親の

方がより好かれている。これは母親の場合と異なる結果である。母親から口で注意されることが多くても、母親の評価が下がることにはつながらないが、父親からはあまり注意されないことが、子どもにとって、父親の高い評価につながるようだ。

子どもたちは、母親とはふだん密接に接していて、「注意されることもあるが、役立つことも言ってくれる」ことを期待し、父親にはふだんはあまり接しないが、「何かのときには一言しっかりしたアドバイスをしてくれる」ことを期待しているのかもしれない。

表2-5 父親から口で注意される頻度 × 役に立つことを言ってくれるか
(%)

		いつも言ってくれる	ときどき言ってくれる	あまり言ってくれない	その他
口で注意されることが…	よくある	31.4	36.5	14.1	18.0
	ときどきある	31.6	38.8	18.4	11.2
	たまにある	29.3	43.7	11.6	15.4
	あまりない	41.2	27.1	11.6	20.1

表2-6 父親から口で注意される頻度 × 父親が好きか
(%)

		とても好き	わりと好き	ふつう	その他
口で注意されることが…	よくある	52.9	19.2	19.7	8.2
	ときどきある	56.3	18.2	23.0	2.5
	たまにある	58.0	18.6	19.3	4.1
	あまりない	62.9	13.2	18.5	5.4

3

性差をめぐって



「ほめられ体験・叱られ体験」に内容や頻度の性差はあるのだろうか。一般的には、女子に叱られる頻度が低いことも予想される。

表3-1は、第1章でみた項目順に、父親が「とても強く叱る」と答えた子のみの数値で比較してある。ほとんどの項目で性差がみられ、女子は有意に強くは叱られていない。

母親の表は省略したが、母親も女子にはやさしいが、父親の方が男女の差が有意に大きい。一般には、項目で挙げたようなことを女子がすることは少ないだろうが、それ以上に、母親とはまた違った父親の娘に対するやさしさや甘さがうかがえる。

表3 - 1 父親が叱るとき × 性

(%)

	男子	女子	
1. 家のお金を持ち出して買い食いをした	62.9	55.3	*
2. 叱られて親に「うるさいな」と言った	61.3	48.1	**
3. 塾やけいこごとをさぼった	31.0	20.4	**
4. 12時頃まで起きてテレビを見ていた	27.6	24.0	
5. 友だちとけんかをして相手が学校を休んだ	24.2	16.8	**
6. 机や部屋を何日も散らかしたままにしていた	20.2	13.7	**
7. レストランで大声を出してふざけていた	28.6	17.5	**
8. 親に何度呼ばれても返事をしなかった	25.6	20.5	**
9. 明日テストなのに勉強しなかった	14.3	8.7	**
10. 嫌いなおかずを一口も食べなかった	14.0	10.3	*
11. よそ見をしながら自転車に乗っていた	14.1	9.6	**
12. 言いつけられた手伝いを忘れていた	10.9	6.0	**
13. 学校や塾のテストで平均点以下をとった	10.3	5.5	**
14. 親が近所の人にあいさつをしたのに知らん顔をしていた	11.4	8.4	*
15. 電車の中でお年寄りに席をゆずらなかった	6.7	5.3	**
16. 友だちとけんかして仲直りしなかった	7.8	4.1	**

父親が「とても強く叱る」割合

* は5%水準で有意差あり

** は1%水準で有意差あり

表3 - 2は、父親が「とてもたくさんほめる」数値の性差である。ここでも母親、父親共に女子をほめることが多いが、やはり父親の方がより娘を多くほめている。思春期をひかえた娘に対する父親の気持ちだろうか。一方男子は、同じことをしてもより強く叱ら

れ、またほめられることは少ない損な立場といえそうである。しかし、性別による接し方の差異は、予想したほど大きくはなかった。

表3 - 3は、叱られ方の中の「たたかれたり体罰される」ことの性差をみたものである。母親に体罰を受けることも、男子の方が女子

表3 - 2 父親がほめるとき × 性

	(%)		
	男子	女子	
1. 作文コンクールで全国1位になった	60.9	66.8	**
2. 運動会のかけっこや水泳で1番になった	37.8	45.1	**
3. 学校や塾のテストで100点をとった	30.5	36.5	**
4. 言われなくても部屋をきれいにした	21.1	24.7	*
5. 言われなくても食事作りの手伝いをした	15.5	20.3	**
6. 道で泣いている小さい子のめんどうをみた	20.5	20.5	*
7. 下校のとき、傘のない友だちをわざわざ家まで送ってあげた	18.8	20.8	*
8. 言われなくても自分から夜遅くまで勉強をした	17.8	20.5	*
9. 電車の中で自分からお年寄りに席をゆずった	14.6	15.7	**
10. 知らない人から電話があったとき、きちんと話げできた	12.8	13.6	
11. 近所の人に自分から頭を下げてあいさつした	12.9	14.5	*

父親が「とてもたくさんほめる」割合

*は5%水準で有意差あり

**は1%水準で有意差あり

より有意に多いが、とくに父親の体罰は、より多く男子に向けられている。父親からの体罰を「よく・ときどき・たまに」受ける男子は、合わせて45%に達するが、女子では26%。一度も父親から体罰を受けたことのない男子は全体の3割であるが、女子の約半数

は「一度もない」と答えている。男子と女子に対する差は、父親の方でより大きい。それにしても体罰を「よく・ときどき」受けている子が、男子で3割弱、女子で2割弱ほどいる。これは決して無視できない数値である。

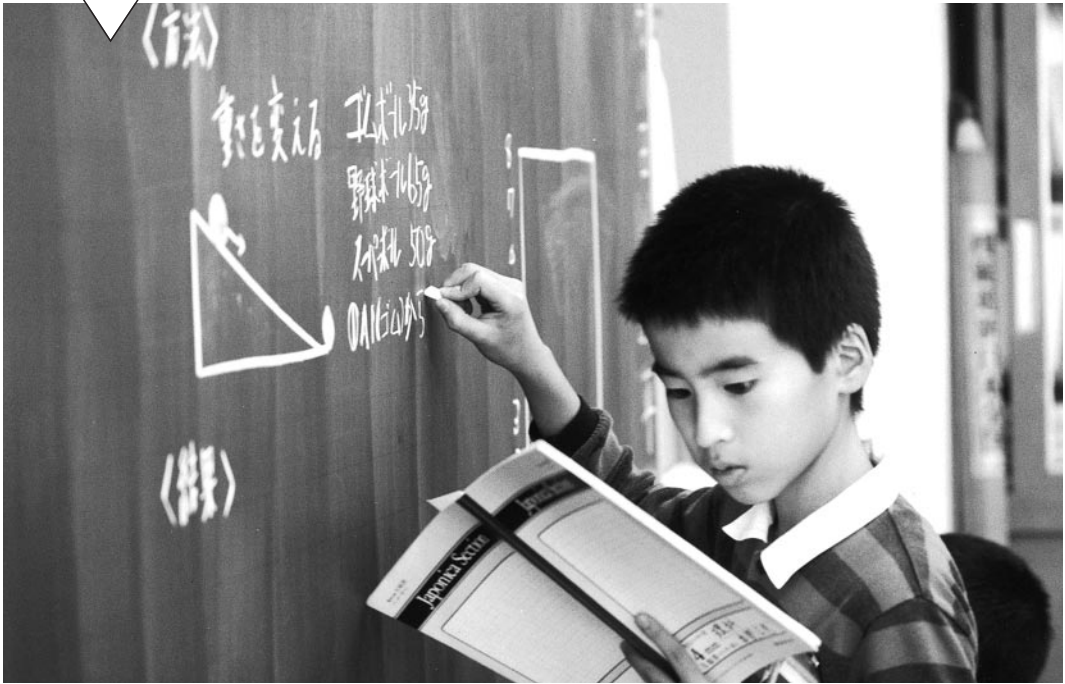
表3 - 3 母親や父親からの叱られ方(たたかれたり体罰される) × 性

(%)

	よくある		ときどきある		たまにある		あまりない		一度もない	
	母親	父親	母親	父親	母親	父親	母親	父親	母親	父親
男子	15.1	17.7	11.7	10.7	18.5	16.2	29.1	25.7	25.6	29.7
女子	10.2	8.0	8.4	7.1	15.9	10.6	30.3	25.6	35.2	48.7

4

学年差について



「ほめられ体験・叱られ体験」は学年によってどうなるのだろうか。

表4-1は、前出の項目順に、父親が「とても強く叱る」子の数値を学年別にみたものである。「3.塾やけいこごとをさぼった」の1項目のみが、6年生で有意に強く叱られている。受験などを意識しての数値と思われる。

その他の多くの項目では、4年、5年、6年と学年が上がるにしたがい、有意に叱られなくなっている。この点は母親も同様の傾向

だったが、とくに父親に有意差が多くみられた。母親よりも父親の方が子どもの発達的な違いを考えて、年齢が上がるにしたがって叱らなくなっているのかもしれない。子どもの年齢が上がるにしたがって、父親の方がより自主性や子ども自身の判断を信頼している結果かもしれない。しかし、社会性に関する項目でも同様の傾向を示しているのは残念である。自主性の尊重なら、社会性に関する項目ではきちんと叱ってほしい。全体に、子どもをきちんと叱らなくなっているのかもしれない。

表4 - 1 父親が叱るとき × 学年

(%)

	4 年	5 年	6 年	
1. 家のお金を持ち出して買い食いをした	62.7	58.4	56.8	
2. 叱られて親に「うるさいな」と言った	58.7	53.1	53.1	
3. 塾やけいこごとをさぼった	25.2	24.4	27.8	*
4. 12時頃まで起きてテレビを見ていた	28.9	24.9	23.8	
5. 友だちとけんかをして相手が学校を休んだ	24.0	20.1	18.0	**
6. 机や部屋を何日も散らかしたままにしていた	22.2	15.3	13.9	**
7. レストランで大声を出してふざけていた	26.4	20.9	22.6	**
8. 親に何度呼ばれても返事をしなかった	24.7	21.2	23.5	*
9. 明日テストなのに勉強しなかった	15.5	9.5	10.1	**
10. 嫌いなおかずを一口も食べなかった	15.4	11.7	9.7	**
11. よそ見をしながら自転車に乗っていた	14.5	12.2	9.2	**
12. 言いつけられた手伝いを忘れていた	11.0	6.2	8.4	
13. 学校や塾のテストで平均点以下をとった	11.3	6.3	6.5	**
14. 親が近所の人にあいさつをしたのに知らん顔をしていた	10.6	8.6	10.5	
15. 電車の中でお年寄りに席をゆずらなかった	7.6	6.0	4.7	**
16. 友だちとけんかして仲直りしなかった	8.9	5.1	4.2	**

父親が「とても強く叱る」割合

*は5%水準で有意差あり

**は1%水準で有意差あり

表4 - 2は、母親が「とてもたくさんほめる」と答えた子の数値を発達で比較したものである。すべての項目で、学年が上がるにしたがって、有意にほめなくなっている。これは、父親もほぼ同様の傾向であった。

叱られることもほめられることも共に、学年が上がるにしたがって、子どもの体験としては少なくなっている。このことを子ども自身はどうとらえているのだろうか。

表4 - 3から表4 - 6は、母親や父親の叱り方についてどう思うかを学年別にクロス集計したものである。学年が上がるにしたがい有意に、母親や父親の叱り方をうるさいと思い、かえってやる気がなくなると答え、また親がひどくにくらしくなるといった親への反感や反発を表明する者が有意に高くなっている。

発達的には小学校高学年ともなると、規

表4 - 2 母親がほめるとき × 学年

	(%)			
	4 年	5 年	6 年	
1. 作文コンク - ルで全国 1 位になった	80.9	66.0	60.8	**
2. 運動会のかけっこや水泳で 1 番になった	46.9	36.3	23.7	**
3. 学校や塾のテストで100点をとった	39.7	31.9	24.3	**
4. 言われなくても部屋をきれいにした	33.9	28.1	19.1	**
5. 言われなくても食事作りの手伝いをした	31.5	26.0	17.8	**
6. 道で泣いている小さい子のめんどうをみた	32.5	20.8	15.1	**
7. 下校のとき、傘のない友だちをわざわざ家まで送ってあげた	23.6	23.5	15.0	**
8. 言われなくても自分から夜遅くまで勉強をした	24.2	19.5	16.3	**
9. 電車の中で自分からお年寄りに席をゆずった	19.0	14.6	9.9	**
10. 知らない人から電話があったとき、きちんと話できた	13.7	7.9	6.7	**
11. 近所の人に自分から頭を下げてあいさつした	11.7	8.8	6.3	**

母親が「とてもたくさんほめる」割合
**は1%水準で有意差あり

範や親の規制から抜けだし、そうした規範の自律的、すなわち判断基準を自分や友人の中に見つけようとしはじめる時期である。自主自立への志向が高まり、とくにくどい叱り方や体罰で子どもを押しさえようとする姿勢には、反発が起こるのである。

次に表4-7は、ほめられてどう思うかを学年別に示した。「次ももっとほめられるようにがんばろう」と、ほめられ、認めら

れることを喜んで、期待に応えようとする意欲をみせる子は、学年が上がるにしたがい逆に減少している。

「ほめられ体験・叱られ体験」の受け止め方は発達と共に変化し、小さい頃と同じような効果は期待できなくなっていることがみとれる。しかし、子どもの側で反発したり、効果が薄くなるからといって、親は「叱らない・ほめない」ことでいいのだろうか。

表4-3 母親や父親の叱り方(うるさいと思う) × 学年

(%)

	いつも そう思う	ときどき そう思う	あまり そう思わない	ぜんぜん そう思わない
4 年	12.5	25.6	31.9	30.0
5 年	17.5	34.2	28.5	19.8
6 年	25.0	32.0	26.6	16.4

表4-4 母親や父親の叱り方(かえってやる気がなくなる) × 学年

(%)

	いつも そう思う	ときどき そう思う	あまり そう思わない	ぜんぜん そう思わない
4 年	15.5	26.5	29.9	28.1
5 年	22.0	30.2	25.9	21.9
6 年	23.5	33.4	23.7	19.4

表4 - 8は、母親、父親が叱るときに、子どもの言い訳や理由を聞いてくれるかを尋ねたものである。両親共に、学年が上がるにしたがい、「何も聞いてくれないで叱ることが多い」と答える子が有意に多くなっている。発達が進むにしたがって、叱らなければな

らない子どものトラブルは、より社会的なものになり、原因と結果の関連が単純でなくなる。また人間関係も複雑になり、単なる叱責だけでは解決がつかないケースも多くなる。明確な理由を求める子どもの要求に、満足のいくような答えを与えるのも難しくなる。親

表4 - 5 母親や父親の叱り方(親がひどくにくらしくなる) × 学年

	(%)			
	いつも そう思う	ときどき そう思う	あまり そう思わない	ぜんぜん そう思わない
4 年	8.1	12.5	28.0	51.4
5 年	9.4	19.6	29.7	41.3
6 年	15.1	21.9	32.0	31.0

表4 - 6 母親や父親の叱り方(叱られないようにがんばろうと思う) × 学年

	(%)			
	いつも そう思う	ときどき そう思う	あまり そう思わない	ぜんぜん そう思わない
4 年	40.6	37.3	13.3	8.8
5 年	34.7	39.9	15.6	9.8
6 年	28.7	42.8	18.8	9.7

たちのとまどいも生まれるであろう。

しかし、子どもはいつも納得できる説明を求めている。簡単には解決できないトラブルや問題の場面でも、何とか糸口を見いだし解決しようとする親の姿勢が重要であろう。叱り方やその理由の内容と同時に、子

どもの方でも、親の姿勢を次第に評価するようになる。めんどうだからといって、子育てに手抜きをする姿勢では、子どもに見抜かれてしまうだろう。

表4 - 7 母親や父親のほめ方(次ももっとほめられるようにがんばろうと思う) × 学年

	(%)			
	いつも そう思う	ときどき そう思う	あまり そう思わない	ぜんぜん そう思わない
4 年	37.8	37.0	15.3	9.9
5 年	29.7	35.5	23.8	11.0
6 年	24.6	36.9	23.5	15.0

表4 - 8 母親や父親は叱るとき、子どもの言い訳や理由を聞いてくれるか × 学年

	(%)			
	何も聞いてくれないで 叱ることが多い		なぜそんなことをしたか ていねいに聞いてくれる ことが多い	
	母親	父親	母親	父親
4 年	27.2	26.2	72.8	73.8
5 年	29.8	29.9	70.2	70.1
6 年	35.5	31.8	64.5	68.2

5

親子関係や親のタイプ



子どもが「ほめられること・叱られること」をどのようにとらえるか、性別や学年別でみてきたが、そこには家庭による違い、とりわけ親子関係との関連も感じられる。

表5-1から表5-4は、前出の母親や父親の叱り方についての「1. 叱りすぎだと思う」から「7. これからがんばろうと思う」までの7項目で、「いつもそう思う」と答えた子が、家庭の雰囲気や親とのかかわりで、それをどうとらえているかをみたものである。

表5-1では、「1. 叱りすぎだと思う」と「いつも思っている」子のうち、「食事のとき、みんなでよく話をする」という項目に「ぜんぜんそうでない」とする子が34%おり、叱りすぎだと思っていない子に比して、この数値は有意に高い。自分の親が叱りすぎだと思っている子は、食事のとき、みんなで話をする事がほとんどないことになる。

同様に、親の叱り方を「3. うるさいと思う」「4. かえってやる気がなくなる」「5. 親がひどくにくらしくなる」とする子に、食

事のときに話をしていない子が有意に多い。逆に、「6. 叱られても仕方がないと思う」「7. これからがんばろうと思う」と、その非を率直に認め、今後の姿勢につなげている子は、食事のときみんなて話をしている。

表5-2、表5-3でも同様の傾向があり、親の叱り方に反感を抱き、親をにくらしく思う子は、「自分の気持ちや考えていることを親はわかってきていない(表5-2)」「自分の言うことを親はゆっくり聞いてくれない(表5-3)」「自分のことを大事にしてくれない(表5-4)」の割合が高い。叱るという親の行為も、それを受け入れる子どもの心がなければ意味がない。子どもが親の言葉を受け入れるためには、親が自分の話をよく聞いてくれるし、自分を大事にし、受け入れてくれているという「信頼感と心のゆとり」が必要であろう。これは学年が進んで思春期を迎えても、基本的には同じであろう。叱り方やその効果を論議する前に、親が子どもを受け入れているかどうかの問題であろう。

表5-1 母親や父親の叱り方（1～7で「いつもそう思う」）
×「食事のとき、みんなでよく話をする」

(%)

	食事のとき、みんなでよく話をする				
	とても そう	少し そう	あまり そうでない	ぜんぜん そうでない	
1. 叱りすぎだと思う	11.5	9.9	18.4	33.9	**
2. 親の機嫌が悪いから叱られていると思う	7.2	8.7	13.7	28.6	**
3. うるさいと思う	14.9	18.3	26.2	46.8	**
4. かえってやる気がなくなる	19.2	18.1	21.9	54.8	**
5. 親がひどくにくらしくなる	8.1	10.8	17.6	31.7	**
6. 叱られても仕方がないと思う	29.9	20.8	20.4	19.7	**
7. これから叱られないようにがんばろうと思う	42.6	28.8	23.2	16.1	**

**は1%水準で有意差あり

表5-2 母親や父親の叱り方（1～7で「いつもそう思う」）
×「気持ちや考えていることを親はわかってくれる」

(%)

	気持ちや考えていることを親はわかってくれる				
	とても そう	少し そう	あまり そうでない	ぜんぜん そうでない	
1. 叱りすぎだと思う	9.2	8.5	17.2	41.7	**
2. 親の機嫌が悪いから叱られていると思う	6.3	6.7	11.8	32.7	**
3. うるさいと思う	12.9	15.3	24.5	51.5	**
4. かえってやる気がなくなる	15.3	17.6	26.1	49.5	**
5. 親がひどくにくらしくなる	7.4	8.1	15.8	35.0	**
6. 叱られても仕方がないと思う	35.7	21.6	16.0	19.4	**
7. これから叱られないようにがんばろうと思う	51.4	30.7	18.4	17.5	**

**は1%水準で有意差あり

表5-3 母親や父親の叱り方（1～7で「いつもそう思う」）
 × 「あなたの言うことを親はゆっくり聞いてくれる」
 （％）

	あなたの言うことを親はゆっくり聞いてくれる				
	とても そう	少し そう	あまり そうでない	ぜんぜん そうでない	
1. 叱りすぎだと思う	8.4	10.2	17.7	48.6	**
2. 親の機嫌が悪いから叱られていると思う	5.5	6.3	14.7	44.0	**
3. うるさいと思う	12.7	15.1	29.0	60.8	**
4. かえってやる気がなくなる	15.0	17.2	28.7	63.5	**
5. 親がひどくにくらしくなる	6.7	8.2	17.6	46.6	**
6. 叱られても仕方がないと思う	37.1	21.4	14.4	12.3	**
7. これから叱られないようにがんばろうと思う	48.8	32.1	16.9	10.8	**

**は1%水準で有意差あり

表5-4 母親や父親の叱り方（1～7で「いつもそう思う」）
 × 「あなたのことを親は大事にしてくれる」
 （％）

	あなたのことを親は大事にしてくれる				
	とても そう	少し そう	あまり そうでない	ぜんぜん そうでない	
1. 叱りすぎだと思う	9.0	13.7	24.8	68.8	**
2. 親の機嫌が悪いから叱られていると思う	7.0	10.1	13.6	46.9	**
3. うるさいと思う	12.9	24.1	33.3	78.1	**
4. かえってやる気がなくなる	17.4	22.0	28.0	75.0	**
5. 親がひどくにくらしくなる	7.5	11.8	26.0	60.6	**
6. 叱られても仕方がないと思う	31.8	15.4	12.7	12.9	**
7. これから叱られないようにがんばろうと思う	43.4	21.9	15.9	6.3	**

**は1%水準で有意差あり

表5 - 5と表5 - 6は、母親と父親の叱り方のクロス集計であるが、これらを見ると、両親が同じような叱り方をしているのがわかる。

母親が長い時間くどくどと叱る家庭では、父親も有意にくどくどと叱っている(表5 - 5)。母親がたたいたり体罰をする場合には、父親も同様に体罰を与えている(表5 - 6)。ある意味で古典的な発想かもしれないが、子育ての上で、「叱る役割」と「子どもをかばい、なだめる役割」のような分業が両親間で必要ではないだろうか。子どもに逃げ場や心

の安全基地を用意することも大事であろう。

表5 - 7は、ほめ方のクロス表であるが、やはり母親が「えらかったね」とほめる場合には、父親も有意に同様のほめ方をしている。

「ほめられ体験・叱られ体験」は子どもの成長にとって大事だが、その体験が子どもにどう受けとめられるかは、親たちが子どもを受け入れているかどうかによって大きく異なっている。しかし、子どもは家庭を選べない。とすれば、家庭にある問題点を補うことのできる社会的な場が、家庭以外のところで用意されることが必要であろう。

表5 - 5 母親の叱り方 × 父親の叱り方
「長い時間くどくどと叱られる」

(%)

		父親に長い時間くどくどと叱られる				
		よくある	ときどきある	たまにある	あまりない	一度もない
母親に長い時間くどくどと叱られる	よくある	29.8	16.2	12.7	22.4	18.9
	ときどきある	15.8	27.1	17.1	25.4	14.6
	たまにある	7.9	15.1	22.6	34.2	20.2
	あまりない	6.1	7.8	10.4	47.5	28.2
	一度もない	4.6	3.1	4.9	11.3	76.1

表5 - 6 母親の叱り方 × 父親の叱り方
「たたかれたり体罰される」

(%)

		父親にたたかれたり体罰される				
		よくある	ときどきある	たまにある	あまりない	一度もない
母親にたたかれたり体罰される	よくある	48.8	11.4	10.9	16.6	12.3
	ときどきある	20.2	21.4	14.3	22.7	21.4
	たまにある	11.0	13.4	30.3	23.0	22.3
	あまりない	5.3	7.3	14.5	44.8	28.1
	一度もない	4.7	2.2	4.1	12.7	76.3

表5 - 7 母親のほめ方 × 父親のほめ方
「『えらかったね、よかったね』と言ってくれる」

(%)

		父親が「えらかったね、よかったね」と言ってくれる				
		よくある	ときどきある	たまにある	あまりない	一度もない
母親が「えらかったね、よかったね」と言ってくれるよ	よくある	69.3	16.7	8.0	4.6	1.4
	ときどきある	19.4	41.7	23.8	12.5	2.6
	たまにある	12.7	20.8	36.1	24.6	5.8
	あまりない	4.6	9.8	23.2	45.9	16.5
	一度もない	1.9	3.8	13.2	13.2	67.9

6

他人によるほめられ体験・叱られ体験



では子どもは、家庭以外の場所では、どのように「ほめられ体験・叱られ体験」をしているのだろうか。

図6-1は、他人に何をどのくらいの頻度で叱られた体験があるか、尋ねたものである。図中の数値が示すとおり、子どもたちは、他人にはほとんど叱られていない。「1. 道路でふざけていて叱られたこと」が、1回以上ある子が半数いるが、他の項目では、叱られるべき行為をしても他人から一度も叱られていないことが多い。地域の教育力が低下しているという指摘もうなずける。

また、「そういうことはしたことがない」と答えた子が、それぞれの項目で3割から8割に達している。ギャングエイジがいなくなり、子どもが外で遊ばなくなったために、よ

そのおとなに叱られるような行為もなくなったのであろう。

図6-2は、他人にほめられた体験を尋ねたものである。ほめられた体験は、予想よりもやや高い数値であった。「1. お使いなど手伝いをしてほめられたこと」が1回以上ある子が7割以上、その他「2. よその小さい子と遊んであげてほめられた」「3. 近所の人にきちんとあいさつができてほめられた」「4. 道を聞かれて教えてあげてほめられた」までの項目でも、7割前後の子が1回以上、ほめられた体験を持っている。

子どもは他人にも叱られずに、むしろほめられる体験を多く持っている。おとながよその子どもに接するとき親身で叱ることがなくなった地域の状況がみえてくる。

図6 - 1 よそのおとなに叱られたこと

	何度もある			そういうことは したことがない (%)	
	2～3回ある	1回くらいある	一度もない		
1. 道路でふざけていて叱られたこと	16.0	31.2	18.8	30.2	
2. バスや電車の中でさわいで叱られたこと	5.6	16.4	29.4	46.5	
3. 遅くなるまで外で遊んでいて叱られたこと	7.3	32.9		56.1	
4. 友だちをいじめたりけがをさせたりして親とあやまりに行ったこと	9.9	23.7		63.3	
5. よその家の花や果実をとって叱られたこと	5.2	16.1		75.8	
6. よその家のガラスを割って叱られたこと	5.2	11.6		81.4	
7. 友だちなどとけんかして相手の親が文句を言いにきたこと	7.7	27.9		61.0	

図6 - 2 よそのおとなにほめられたこと

	何度もある				そういうことは したことがない (%)	
	2～3回ある	1回くらいある	一度もない			
1. お使いなど手伝いをしてほめられたこと	24.7	26.3	22.3	17.3	9.4	
2. よその小さい子と遊んであげてほめられたこと	24.3	22.1	19.8	17.1	16.7	
3. 近所の人にきちんとあいさつができてほめられたこと	23.5	23.7	24.8	23.1	4.9	
4. 道を聞かれて教えてあげてほめられたこと	12.6	32.3	30.7	14.1	10.3	
5. 駅や店の人ときちんと話ができほめられたこと	10.2	15.9	26.6	34.2	13.1	
6. 電車の中でお年寄りに席をゆずってほめられたこと	10.0	22.8	28.3	21.8	17.1	
7. 近所の家の前を掃除などをしてあげてほめられたこと	8.3	15.2	18.6	23.6	34.3	
8. 道路や公園を掃除してほめられたこと	5.0	7.8	14.7	26.6	45.9	

7

ひどく叱られたこと



最近、子どもへの虐待が問題になっている。親の側からは、しつけの一環としてしていることでも、第三者の目からみれば、文字通りの虐待であったり、あるいは親や他人はそれほど強く叱っているつもりはなくても、受ける側の子どもには心の傷となって残ることもある。妥当な範囲内のしつけであるか、それを超えた虐待に属する行為であるかの判断は、しばしば難しいものがある。ひどく罰せられたときのことを尋ねてみると、表7-1のように、「たたかれたこと」はわりと多くの子どもたちが経験していて、8割以上の子どもたちが少なくとも1回は経験している。しかし、「家の外に出される、つねられる、食事をさせてもらえない、口をきいてもらえない」などの罰は比較的少ない。その内容をもう少し詳しく探ってみよう。

アンケート調査の最後に、今まで一番ひどく叱られた体験についての自由記述欄を設けた。それが何歳の頃でなぜ叱られたか、そし

てどのように叱られたかも尋ねている。その結果、全体の4割弱にあたる675人から回答を得られたので、それを分析してみよう。

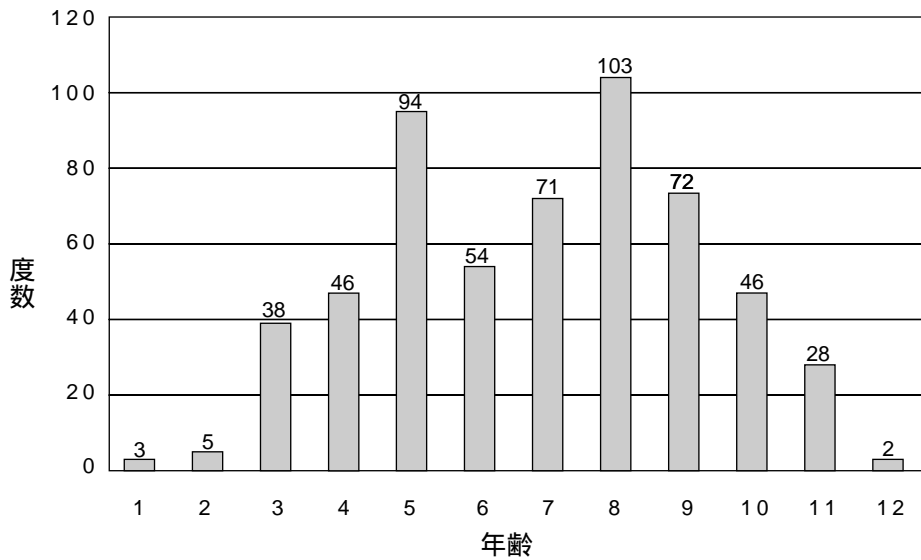
まず、そのような体験を持った年齢である。図7-1によれば、8歳から10歳に1つのピークがある。どんな鮮烈な記憶でも時間と共に薄れていくので、最近叱られた経験の方が生々しく記憶に残っているのであろう。

しかし、それと同時に5歳にもう一つの山がある。まだ小学校に入る前の時期で、5～6年生にとってはかなり昔の出来事のはずであるが、5歳以前の年齢では、幼くてよほど鮮烈な出来事でないとい記憶されにくいのであろう。4～5歳の頃から、叱られた体験を記憶にとどめることができるようになる。6～7歳よりも5歳にピークがあるということは、その頃の方が叱られる頻度が高いことが考えられ、同じように叱られても年齢が低い方がより「ひどく叱られた」と感じるのであろう。

表7-1 ひどく叱られた体験

	(%)			
	たくさんある	何回かある	1回くらいある	一度もない
1. たたかれたこと	20.6	37.9	25.8	15.7
2. つねられたこと	8.0	14.6	18.2	59.2
3. 家の外に出されたこと	7.5	19.8	27.5	45.2
4. 食事を食べさせてもらえなかったこと	2.6	5.1	12.2	80.1
5. ずっと口をきいてもらえなかったこと	4.2	6.8	21.1	67.9

図7-1 一番ひどく叱られた年齢



次に、叱られた原因について分類してみた。自由記述をもとに、おおまかに分類したものが表7-2である。まず一番多いのが、日常のこまごまとした生活習慣に関する事で、具体的な内容は付表A (p.51)に掲げたとおりである。これは、「家を汚してしまった、部屋を片づけない」などの整理整頓、「食事ができない、嫌いなものが食べられない、買い食いをした」など食事にまつわること、「ぐずぐずしてお風呂に入らない、長い時間テレビを見たり、ゲームをしている、お手伝いをしない」などの毎日の生活上のルール、それに、「犬の世話をしない、猫をいじめた」などペットにまつわることなどが含まれる。

次に多いのが勉強に関する事で、これは「テストの点数が悪かった、勉強をしない、塾や習いごとに行きたくない、塾をさぼる」などが含まれる。勉強にまつわる事が、いかに子どもたちの大きな負担になっているかがよくわかる。

これと同じくらい多かったのが、親への反抗である。「親に言い返す、口答えする、文句を言う」から、「返事をしなかった、生意気な口をきいた、親から頼まれたことを断る、親の言うことをきかない」など、あるいは「家で暴れる、ものを投げる」などの暴力的な行為も含まれる。

物品の管理・破損・金銭関係とは、「いろいろなものをなくしたり、盗まれてしまった、傷つけてしまった、こわした」ことである。「お金を無駄遣いした、親のお金を持ち出した」などもここに含めた。

次に多かったのが、帰宅時間や門限に関する事である。門限といっても、子どもたちの場合は無断で外出することより、無断で帰宅時間が遅くなることの方が叱られる回数が多いようである。

きょうだいげんかやきょうだい間のトラブルも、叱られる原因となることが多い。とくに相手を傷つけたりけがを負わせたとき、親

表7-2 今までにひどく叱られたときの原因

(%)

1. 日常の生活習慣	14.6
2. 勉強に関する事	13.2
3. 親への反抗	13.2
4. 物品の管理・破損・金銭	11.8
5. 帰宅時間・門限・外出	10.0
6. きょうだい関係	8.1
7. 自分が反省していること	7.6
8. 反モラル・反道徳	6.7
9. 火遊び・けが・危険なこと	4.2
10. 友だちとのトラブル	2.6
11. 分類不能	8.0

の叱責の対象となる。

次の「自分が反省していること」は、具体的に何をやったかの記載はないが、「自分が悪いことをした、わがままなことをした、態度が悪かった、人のせいにした」などと書かれている場合である。子どもたちは、具体的に叱られる対象となった言動は忘れてしまっているが、とにかく自分がよくないことをしたから親からきつく叱られた、という印象だけが残っているような場合である。

次の「反モラル・反道徳」とは、「うそをつく、約束を守らない、万引きをする、人のものをとったり勝手に使う」など、公衆の道徳に反した行為である。

また、危険な行為に対して叱られることもある。たとえば、「火遊び、故意ではないが人にけがを負わせてしまったとき、交通ルールを守らない」など、直接自分の身が危険にさらされるときなどがこれに当たる。

友だちとのトラブルの内容として、けんかしたり相手を傷つけたりも多少はあるが、親やきょうだい間でのトラブルに比べれば、比較的少ないようである。

最後の分類不能の中には、「なぜ叱られる原因となったのが限られた記述でよくわからない場合、あるいは自分に落ち度がないのに不条理に親から叱られた」場合である。

次に、子どもたちが一番印象に残っている叱責の手段についてみてみよう。

自由記述から分類したものが、表7-3である。また、その具体的な記載例を付表B(p.57)に挙げた。まず、一番多いのが身体的な暴力で、全体の4割ほどである。「たたかれた、けとばされた、ピンタをくらった」などが多いが、中には「ベルトでなぐられた、浴槽に沈められた、顔を強くたたきつけられて目の上がはれた、包丁を向けられた」など、明らかに虐待に属する行為も少なからずみられた。

次に多かったのが、「家の外に出す」という手段である。家の外やベランダの外に出し、家の中に入れない。子どもたちにとって、そ

れらはとても長く辛い時間のように感じられている。

また、言葉による叱責もある。「『ばか』と言われた」「臭いから入ってくるなよ」「あんたなんかいらぬ、どっか行け」「もうあんたとは親子の縁を切る」「もう転校しなさい」「外で頭を冷やしてこい」などのひどい言われ方をしている。こんな言葉をおとなは子どもに吐いているのか、怒りを感じる。詳細は付表に収録したが、「ばか」のように、プライドを傷つけたり自己価値を低められる言葉よりも、親から見捨てられるかもしれないほどの不安をかき立てるような言葉は、子どもたちの心をどれほど傷つけるか、親はそれを知っているのだろうか。だからこそ親は効果的な罰として、そうした暴言をはくのかもしれないのだが。

子どもたちの挙げた叱責の手段について概観してみよう。上に挙げたように、「外に出す」ことの反対に、「外出を禁止」したり、「家に閉じ込める」のような行動の制限もみられる。

具体的には「真っ暗な部屋に閉じ込められた」「お風呂場に閉じ込められた」「何日が友だちの家に行けなくなった」「ディズニーランドに連れて行ってもらえなかった」などである。

なお「内から外へ、あるいは外から内へ」という子どもへの罰の与え方には、文化差が反映しているといわれる。東洋の文化圏では、「内」の世界から締め出すこと、つまり家の外に出すことが罰となり、アメリカなどの西洋文化では「外」の世界での行動の自由を束縛することが罰となる。「集団性」を重視する東洋文化と、「自由な個性」を重視する西洋文化の違いからであろうか。

また、「存在の無視」あるいは「生活習慣の無視」による罰の与え方もみられる。存在の無視とは、たとえば「無視された」「口をきいてくれなかった」など、また生活習慣の無視とは「食事を出してくれなかった」「おこづかいなし」など、親から当然与えられるべ

き衣食住の基本的充足が奪われることである。何かを与えられないことの反対は「任務・課題の付与」による罰である。これには「買い物に行かされた」「勉強をさせられた」「正座させられた」「けんかした相手にあやまりに行かされた」などがある。また、持ち物を没収されることもある。「お金やおこづかいを取り上げられた」「おもちゃを捨てられ

そうになった」「ゲームを隠された」などがこれに相当する。

このように、子どもたちは親からさまざまな形でひどく叱られた経験を持っている。それらには、はるか昔の出来事もあれば、わりと最近の出来事もあるが、いま振り返ってみて子どもたちは、そうした罰をどう評価しているのだろうか。

表7-3 どんなふうに叱られたか

(%)

1.身体的暴力(たたく・ける・なぐるなど)	42.5
2.外に出される	26.0
3.言葉による叱責	14.8
4.行動の制限(外出禁止・閉じこめるなど)	5.5
5.存在の無視・生活習慣の無視	5.3
6.任務・課題の付与	2.5
7.持ち物の没収	1.1
8.分類不能	2.3

表7-4をみてみよう。今まで挙げたように体罰や言葉の叱責、あるいは外に出されるなどのやり方でひどく叱られているにもかかわらず、「ひどすぎる」と評価しているのは4分の1にも満たない。むしろ、「自分が悪かったのだから仕方がない」と反省したり、中には「あのくらい叱られてよかった」と、叱られた体験を肯定的に回顧している場合も15%ほどみられる。

叱られ方によって評価に差がみられ、主なものだけを比較したのが表7-5である。

身体的暴力や言葉の叱責に比べて、「外に出された場合」は「ひどすぎる」と感じる割合がやや低く、「あのくらい叱られてよかった」と感じる割合がやや高くなっている。「身体的な暴力や言葉の叱責」よりも、いっそ「外に出される」方が、後に心の傷を残しにくいということかもしれない。「言葉による叱責」は、「あのくらい叱られてよかった」とする割合が3項目の中で一番低い。言葉の叱責は、身体的な暴力以上に子どもにダメージを与えるときもあり、後から肯定的に回顧

することが難しい罰の与え方ということかもしれない。

具体例を付表C(p.60)に挙げた。ひどすぎると感じている場合、自分に落ち度があると認めた記載がない。これらは子どもたちの主観的な記憶であるから、実際子ども側に、ひどく叱られても仕方がないだけの「落ち度」があったのかもしれない。しかし記述を読む限り、かなり理不尽な叱られ方をされているという印象を受ける。とくに本人が今でも「ひどすぎる」と感じている場合は、この程度のことではこれほどの叱り方をしているものだろうかと感じてしまう。一方、「自分が悪かったのだから仕方がない」と感じている場合、「勉強をしなかったから」「うそをついたから」「うるさくしたから」などと、それなりに自分の落ち度を認めているようにみえる。しかし、それに対する対処はかなり重いという印象は否めない。これらと「あのくらい叱られてよかった」と感じている場合の記述には、それほど差はみられなかった。それなりの落ち度を子どもは認めていても、親の対処は重

表7-4 叱られたことを今、どう評価するか

(%)

1.ひどすぎる	22.0
2.自分が悪かったのだから仕方がない	63.1
3.あのくらい叱られてよかった	14.9

いと感じる。

これらの記述はどのように読めばよいのか、むろん慎重でなくてはならないが、最近、親による子どもの虐待が注目されはじめたことが気になる。ごくふつうの家庭で、実はわれわれの想像を絶するような虐待があったという報告が多数なされている。そのような話を聞くと、われわれは今まで似たような事実を多数見過ごしてきたのではないかと反省する。

家庭内の虐待を扱う際に、とくに困難な要因がいくつかある。まず、家庭という密室で起きた出来事では、家族のプライバシーにどこまで第三者が立ち入ることができるのか、また立ち入るべきであるのか。

日本では親の「親権」が厚く保護されているので、親が同意しない限り、虐待する家族から子どもを切り離し保護することは、これまで非常に困難であった。しかしその親権の壁の中で、子どもの人権が侵害されているケースも少なくない。

もう一つの要因として、しつけと虐待との区別をどこでつけるか、しばしば難しいこと

もある。子どもの社会化のためには、時に罰も必要であるが、体罰はむろん、そうでない精神的な罰もどこまでが許されるのか、判断はしばしば難しい。ある罰を与えたときに、親が親としての教育権から発した行為であると主張すればしつけとも解釈されるが、その意図とは無関係に子どもが傷つけば虐待ともなる。

学校での体罰が社会問題として取り上げられ、禁止された行為であるにもかかわらず、未だに体罰は跡を絶たない。学校も閉ざされた密室であるが、その学校よりも家庭の密室性はより高い。家庭での親からの体罰は、やっと最近になって、問題視されはじめたばかりである。

子どもをどう叱り、ほめるべきかは今も昔も難しい問題の1つである。その有効な手だてについて、もっと工夫や研究が必要であり、同時に、しつけや教育の名目の下で、過去の時代に、そして今も、多くの児童虐待が家庭でも学校でも行われてきた事実、われわれはもっと目を向けるべきであろう。

表7 - 5 叱られ方による評価の差

(%)

	身体的暴力	言葉の叱責	外に出される
1.ひどすぎる	33.9	33.0	27.7
2.自分が悪かったのだから仕方がない	54.1	57.4	58.1
3.あのくらい叱られてよかった	12.0	9.6	14.2

さて、ひどく叱られた体験を持つことによって、親子の関係はどのように変化するか。図7-2は、ひどくたたかれた体験が多いか少ないかによって、親がどの程度自分の気持ちや考えをわかってきているかをみたものである。自分の気持ちを親がとてもわかってくれるという認識は、親からたたかれた体験が「一度もない」が43%であるが、たたかれた体験が増えるにしたがってこの値は低くなり、たくさんたたかれた場合、27%にしかすぎない。

同様に、図7-3では親は「自分の言うこ

とをゆっくり聞いてくれるか」をたたかれた経験で比較した。ここでも同様な傾向がみられる。たたかれた経験が多いほど、親は自分の話をあまり聞いてくれないと感じている。

時には、親は子どもに厳しく接しなければならぬかもしれない。そのことの教育的効果については簡単に判断できないが、しかし少なくとも子どもは、ひどく叱られた体験を持つことによって、親が自分のことを理解してくれないという感覚を持つ場合もままあることに留意するべきであろう。

図7-2 たたかれた体験 × 自分の気持ちや考えていることをわかってくれるか

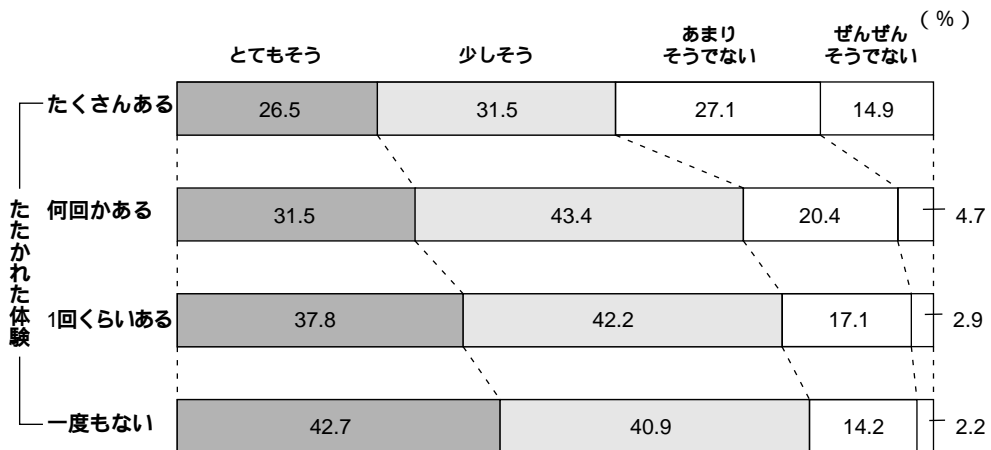
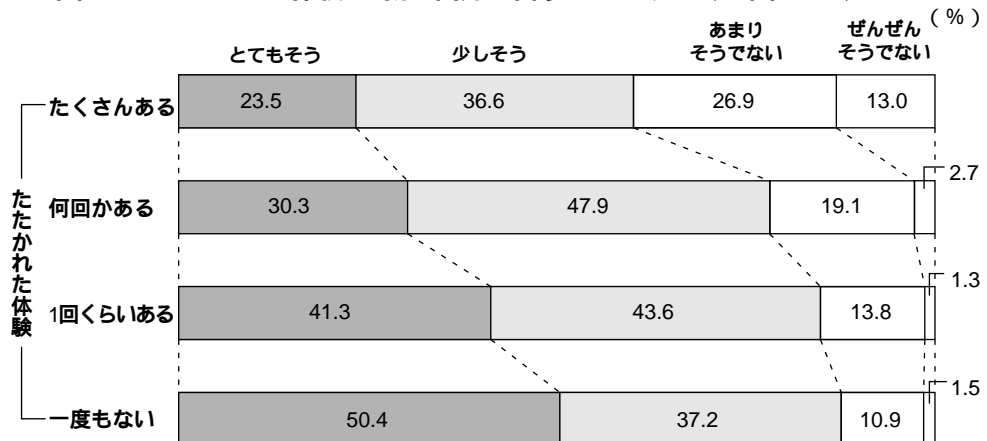


図7-3 たたかれた体験 × 親は自分の言うことをゆっくり聞いてくれるか



付表A 今までにひどく叱られたときの原因

日常の生活習慣

(整理整頓)

- ・部屋をずっと片づけていなくて
- ・「片づける」と何度も言われて片づけなくて
- ・友だちと遊んでいて片づけなかったから
- ・下にかばんを置きっぱなしでちゃんと片づけなかった
- ・家を汚してゴミの上で寝ていたら
- ・友だちと裸足になっていたら
- ・野球をしていて髪が長いから親が「切れ」と言ったが「やだ」と言ったら
- ・何かをこぼして
- ・テレビがおもしろくてトイレをがまんしていたら、両親の布団にもらしてしまって

(食事)

- ・ご飯が少ししか食べられなかったとき
- ・お母さんに内緒で買い食いしたら
- ・嫌いなものを食べられなくて
- ・食事に文句をつけて
- ・お米がまずいと言ったら
- ・食べ物をおかずらしたから
- ・食事のことで文句を言ったら
- ・「ご飯を作らない」と言ったので、おばあちゃんに電話をして「ご飯を作りに来て」と言ったら

(家のルール)

- ・ぐずぐずしてお風呂に行かなくて親をずっと待たせてしまったとき
- ・疲れていてお風呂に入りたくないと言ったら
- ・お兄ちゃんを呼びにいったのに、私がテレビを見ていたと思われて
- ・電話中にうるさかったから
- ・勉強を家でぜんぜんせずにゲームをしていたら
- ・テレビを見ていて親に「早くお風呂に入りなさい」と言われたが入らなくて
- ・ゲームを長い時間やったとき
- ・うるさくしちゃいけないと言われたのに、うるさくしていたら
- ・夜遅くまでテレビを見ていたら
- ・テレビに夢中になってお手伝いをしなかったら
- ・姉と母のお手伝いをするのを忘れていて

(ペット)

- ・犬の散歩が終わって犬の足をふいてあげるのを私がいやがったから
- ・うちの犬に向かってみかんを投げて遊んでいたら
- ・猫を拾ってきたら
- ・家の猫をいじめて

テスト・勉強・塾・習い事・登校

- ・テストで平均点以下だったので
- ・テストが悪くて
- ・テストで0点をとって
- ・勉強をしなかったので
- ・家でも勉強をさぼったら
- ・かけ算で1個間違えると
- ・英語や勉強をさぼったとき
- ・算数ができなくて
- ・宿題をやらないから
- ・塾でぜんぜん勉強をしないでテストを受けて、とてもひどい点数だった
- ・塾に行かなくて
- ・塾の点数が悪くて
- ・塾をさぼったとき
- ・塾の勉強がわからなくてぐずっていたら
- ・プールに行かなくて
- ・ピアノの間違いを（同じところを何回も）して
- ・柔道をずるやすみして
- ・ピアノがうまくいなくてぐずっていたら
- ・バイオリンの練習がいやで「行きたくない」と言ったら
- ・野球が「いやになった」と言ったら
- ・そろばんに行きたくなくてさぼったとき
- ・幼稚園に行きたくなかったから
- ・幼稚園をずるやすみして

親への反抗・口答え・いいわけ・暴力など

（親への反抗）

- ・口ごたえをして
- ・お母さんに言い返したら
- ・お母さんが私に「これやって」と言ったが、私は「えー」と文句を言って
- ・勉強を母としていて私がイライラして
- ・外で遊んでいて母からお使いを頼まれ「今はやだ」と言ったら「もういい」と言って
- ・お父さんが大事な書類を書いているとき、邪魔をしたら
- ・返事をしなかったら
- ・言われたことができずに
- ・やることをやらないで怒った親に対して逆らって
- ・勉強をしていて母があれこれ言ってきたので「うるさいな」と言ったら
- ・母が兄だけにご飯をあげたので「くそばばあ」と言ったら
- ・生意気な口をきいたから
- ・嫌いなおかずを食べずに反抗したら
- ・父に「ばか」と言ったら
- ・すねて家を出たとき

- ・父をにらんでいたら
- ・父に新聞を投げてしまい
- ・親に言ってはいけないことを言い
- ・お母さんがすごくうるさかったので、連絡帳をすごい取り方をしたら
- ・言うことがなかったとき
- ・お母さんに「うるせえな」と文句を言ったら
- ・言うことをきかなかった
- ・お母さんに悪いことを言って
- ・お母さんに怒られてご飯の時間になってもいじけていたら

(暴力)

- ・コップを投げて
- ・家で暴れて
- ・おもちゃをとろうとして当たってしまっただけに

物品の管理・破損・金銭

(物品の管理)

- ・ホテルのロッカーのカギをなくして
- ・自転車を盗まれて
- ・友だちの家の車のボンネットに絵を描いて
- ・トイレにペーパーをつまらせて
- ・カギを落として

(破損)

- ・車のアンテナを折って
- ・車を石で傷つけたから
- ・物を壊して
- ・お母さんの花瓶を割って
- ・コップを割ってしまい
- ・人からもらったお菓子の入ったタッパーをかんでしまい
- ・母のガラスの花瓶みたいなものを間違えて倒して割ってしまったとき
- ・掃除機の先を階段から落としたとき
- ・お父さんの大切なコップを割ったとき
- ・家のガラスを割ってしまった
- ・友だちの家のガラスを割って
- ・人の口紅を折ったとき
- ・幼稚園の鶏の卵を割って
- ・父の仕事の道具をいじって壊してしまっ
- ・写真にくしゃみをかけて
- ・壁に傷をつけて

(金銭)

- ・お金をトランプと間違えて

- ・ 1万円持って全部使ってしまった
- ・ おばあちゃんに「もっとお金くれ」と言ったら
- ・ 友だちの持っていたぬいぐるみが欲しくて母のお財布から2千円取って

帰宅時間・門限・外出

- ・ 門限を守らないで帰ったら
- ・ 6時頃まで友だちの家に来て、迎えに来てくれると聞いて待っていたが遅いので先に帰ったら
- ・ 家にお母さんがなくて、出て行ってしまっ
- ・ 公園で遊んでいて、帰るのが5時を過ぎてしまっ
- ・ 友だちと遊んだ後「5時までに帰ってね」と言われたのに5時30分に帰ったら
- ・ 「6時に帰ってこい」と言われて6時すぎに帰ったら
- ・ 夜遅くまで遊んでいて
- ・ 約束の時間に帰ってこなくて
- ・ 友だちと遊んでいて「帰ってきなさい」と言われ、「やだ」と言ったら
- ・ 寄り道して
- ・ 友だちの家に泊まりたくて家に帰らなかった
- ・ 友だちの家に断わらないで行き
- ・ 時間を守らないから
- ・ 学校帰りに友だちの家に寄ったら
- ・ 学校帰りに工事現場で遊んだら
- ・ 遅くまで遊んでいて

きょうだい・いとこ関係

- ・ 弟を傷つけて
- ・ 弟をいじめて
- ・ 姉とひどいことをして
- ・ 妹の顔にパンチをして鼻血を出した
- ・ 妹とベッドの2階で遊んでいたら口論になり、たたき合っていたら落ちたとき
- ・ 弟を少しぶったとき
- ・ 兄とけんかして泣かしてしまった
- ・ いとこが意地悪をしてボールをぜんぜんくれなくて、持っていたものを投げたら
- ・ 妹が次の日七五三なのに、ふざけていて妹の額にこぶを作ってしまったとき
- ・ 男の子と口げんかをして、自分からその子をたたいてしまったとき
- ・ 兄とけんかしてガラスを割ったとき
- ・ お兄ちゃんをばかにしたので

自分が反省していること（わがまま・悪いこと）

- ・ わがまますぎ
- ・ わがまますぎ
- ・ 自分が悪いことをして

- ・わがままでいつも泣いていてうるさかったから
- ・あまりにうるさいことを言ったので
- ・同じあやまりをくり返してしまったことで
- ・自分が悪いことをしたとき
- ・自分がひどいことをして
- ・自分が悪いことをしていたのに、言い訳ばかりして
- ・わがままでいつも泣いていてうるさかったから
- ・友だちにひどいことをしたり、自分が悪いことをしたとき
- ・悪いことをして
- ・人のせいにして
- ・泣いていて
- ・ぐずったから
- ・態度が悪かったとき
- ・けんかをして3回やめろと注意されたのにやめなかったから
- ・母が説明しているのにイジイジしている

反モラル・反道徳・うそ

- ・隠しごとをしない約束をやぶって
- ・幼稚園のレモンをもぎ取って家に持ち帰って
- ・誰かの家にボールを思いっきり何回も当てて
- ・言葉遣いが悪かったから
- ・万引きをして
- ・友だちとゲームしに行って
- ・兄が家の金を取って、それでどこかに行こうとして
- ・近所の家の夏ミカンを取ったのを親が何回も取ったと勘違いして
- ・うそをついてお弁当を無駄にしまった
- ・うそをついたら
- ・お母さんにひどいうそをついて
- ・うそをついて
- ・塾の先生にうそをついたから
- ・家の人にいばいうそをついて
- ・勝手に家の人の食べ物を食べて

火遊び・けが・危険なこと

(火遊び)

- ・マッチで遊んでいて
- ・マッチに火がついてこわくて落として葉に燃え移ったとき
- ・友だちとマッチで遊んでいたら
- ・花火を人の家の木につけてしまったとき
- ・ゴムを燃やしそうになったら

(けが)

- ・車のドアで弟の指をはさんでしまった
- ・たまたまお母さんの頭をたたいてしまった
- ・父の耳かきをしていて奥の方をしてあげたら、血が出てきて
- ・車にひかれたから
- ・誰かにけがをさせたとき
- ・カミソリをにぎってしまい、血がいっぱい出て

(危険なこと)

- ・釣りに行って海に落ちそうになって
- ・悪ふざけをしてガラスを割り
- ・踏み切りが閉まりそうなのに、自転車で渡ったとき
- ・赤信号を渡ったら
- ・キリを人の首につきつけたり、コンパスの針を人に向けたこと
- ・コンセントにハサミをつけて火花が飛んだとき

友だちとのトラブル

- ・友だちにけんかをしかけられ、かかわったことで
- ・人の家の子の髪の毛を切って
- ・友だちをひっかいて傷をおわせて
- ・友だちにひどいことをして
- ・友だちとけんかをし、なぐったりけったりしてけがをさせてしまった
- ・友だちがうちに遊びに来ていて帰りに見送らなかつたら
- ・幼なじみの子とけんかして
- ・2年生の女の子に椅子を投げられてぶつけられ、怒って泣かしたとき

分類不能

- ・お母さんの仕事が忙しくてイライラしていて、弟と姉と遊んでいたら
- ・何にもしていないのに
- ・一輪車の練習をしていて、写真づくり途中の茶色のビニールの長いひもみたいなものを引っ張って
- ・電車から出て
- ・変な液体を作って
- ・1人で自転車に乗っていたら
- ・来客中に裸になって窓の外を見たら
- ・うまく絵をかけなくてお母さんがせっかく消しゴムを持ってきてくれたのに鉛筆でぐしゃぐしゃにしてしまったから
- ・お母さんが病気で寝ていて、そこに行ったら
- ・父がお酒に酔っていて
- ・親の友だちが来ていることを知らなくてイライラしていたのであいさつもせず、自分で料理をしていたら
- ・友だちの家に遊びに行くとき、置き手紙をしたら
- ・何もやっていないのに疑われて

付表B どんなふうに罰を与えられたか

身体的暴力（たたく・ける・なぐるなど）

- ・たたかれた
- ・「うるさい」と言われ、けられた
- ・お母さんに口で叱られたあと、お父さんにけとばされた
- ・ベルトでなぐられた
- ・皿を投げまくってきて、包丁を持ち出しなぐりまくり怒られた（包丁を軽く投げた）
- ・たたかれて、つねられて文句を言われてすごかった
- ・父が風呂の中で思いきり頭をたたいた。その後浴槽に数秒間沈められた
- ・ビンタをくらった
- ・お母さんにボコボコにされて、たたかれた
- ・父にほおをたたかれて鼻血が出た。鼻血は1時間半くらい止まらなかった
- ・母が怒って床に顔を強くたたきつけて目の上がはれた
- ・太ももがバンバンになるまでたたかれた
- ・耳を引っ張って、宙に浮かせた
- ・ビンタとパンチを5、6回受けた
- ・掃除機の棒で思いきりたたかれた
- ・ほおをつねられたり、髪を思いきり引っ張られたり、けとばされたりした
- ・母に雑巾で頭を何回もたたかれた
- ・首を絞められた
- ・包丁を向けられた
- ・ふすまに投げられた
- ・リモコンが飛んできた
- ・お尻をいやというほどたたかれた
- ・食べたくないものを口に入れられた
- ・頭をたたかれたり、足をつねられた
- ・父にキックされ、たたかれた
- ・おもちゃのバットでお尻をたたかれた
- ・お父さんに引きずられるように抱かれて部屋に戻された
- ・だっこされ、ベランダから落とそうとするまねをして、あやませようとした
- ・パンチされちゃぶ台をひっくり返され、食器棚を倒して夏ミカンを投げられた
- ・ぶっとばされた、けられた、さかさにされた
- ・母に机の角に頭をぶつけられた
- ・ぶたれて1メートルくらい飛んだ
- ・頭と顔以外、ほとんどたたかれた
- ・壁にたたきつけられてなぐられてた
- ・定規の平らな所で10回以上たたかれた
- ・階段から落とされそうになった

外に出される

- ・外に出されて、家に入れてくれなかった
- ・夜9時頃怒られて外に出され、12時頃入れてもらえた
- ・外へ出された
- ・雨の日に外に出された
- ・怒られて、1人で家を出て行った
- ・外に出されたり、たたかれたりした
- ・怒られて「出て行きなさい」と言われた
- ・台風の日に怒られて外に出された
- ・外に出されて3時間くらい家の中に入れてもらえなかった
- ・外に出されてあやまってあやまっても許してもらえなかった
- ・母がイライラし、裸足で外に出された
- ・ベランダに1時間くらい出された
- ・母に服を脱がされ外に出された
- ・ぶたれてつねられて、外に出されて食事なしにされた

言葉による叱責

- ・「ばか」と言われた
- ・耳が痛くなるほど大きな声で怒られた
- ・家の人全員にものすごい剣幕で怒られた
- ・「なんで話しないの」と言われた
- ・「ぶんなぐるぞ」と言われた
- ・父にくどくど叱られた
- ・母に「臭いから入ってくるなよ」と言われた
- ・「うちの子じゃありません」と叱られた
- ・「あんたなんかいらぬ、どっか行け」とお母さんに言われた
- ・「もうあんたとは親子の縁を切る」と言われた
- ・母に「もう転校しなさい」と言われた
- ・「ぐずるんだったら塾やめなさい」と怒られた
- ・「塾と野球をやめろ」と言われた
- ・母に「なんであんたは勉強を理解できないの」と言われた
- ・「出てけ!」と言われた
- ・「外で頭を冷やしてこい!」と言われた
- ・「親の言うことをきかない子はいらぬ」と言われた
- ・「女の子だから」と強く叱られた

行動の制限（外出禁止・閉じこめるなど）

- ・ディズニーランドに連れて行ってもらえなかった
- ・重いものを乗せてきて1時間くらい出られなかった
- ・お父さんにお風呂場に閉じ込められた
- ・真っ暗な部屋に閉じ込められた

- ・風呂に閉じ込められた
- ・真っ暗なトイレに閉じ込められた
- ・何日か友だちの家に行けなくなった
- ・暗い車庫に30分くらい入れられた
- ・1週間遊べなくなった
- ・おばあちゃんの家連れて行ってもらえなかった

存在の無視・生活習慣の無視

- ・口をきいてくれなかった
- ・3日間くらい無視された
- ・1時間くらい話をきいてもらえなかった
- ・ご飯抜きだった
- ・「もう飯を食うな」と食べさせてもらえなかった
- ・無視されて食事を出してくれなかった
- ・食事を食べさせてもらえなくて、口もきいてくれなかった
- ・5か月間おこづかいなし
- ・家から出され、ご飯を食べさせてくれず、夜寝かせてくれなかった

任務・課題の付与

- ・夜遅く買い物に行かされた
- ・お父さんに怒られて、公園まで連れて行かれたことがある
- ・見つかって夜中じゅう勉強をさせられた
- ・車で近くの川まで連れて行かれて、走って帰ってきて死ぬほど苦しかった
- ・「習字に早く行ってきなさい」と言われた
- ・神社においていかれた
- ・夜中に起こされ、床に正座させられた
- ・立たされた
- ・母に警察に連れて行かれた
- ・長く怒られて、あやまりに行かされた

持ち物の没収

- ・お金（おこづかい）を取られた
- ・お金を取られた
- ・おもちゃを捨てられそうになった
- ・おもちゃとかをゴミ袋に入れられた
- ・ゲームを隠された

付表C ひどく叱られたことをどう感じているか

ひどすぎると感じる例

- ・宿題をやらないから皿を投げまくってきて、包丁を持ち出し俺に向け、なぐりまくり怒られた
- ・お母さんの仕事が忙しくてイライラしていて、弟と姉と遊んでいたら「うっせえ、静かにしろ」と言ってなぐられ、けられて泣かされた
- ・かけ算で1個間違えるとその度にお金を取られた
- ・弟を少しぶったとき、両方のほおを思いきりぶって、家の外に出された
- ・夜遅くまで遊んでいて家の中には入れてくれたけど、無視されて食事も出してくれなかった
- ・父の釣りのルアーを壊してしまったら、父はかんかんに怒って私をなぐって叱った
- ・父が拾ってきた猫なのに「お前が世話するから拾ってきたんだろ」と言われ、世話しなかったらほおをたたかれたり、髪をひっぱられた
- ・野球をしていて髪が長いから親が切れと言ったが、「やだ」と言ったらほったたを強くピンタされて「親の言うことをきかない子はいらぬ」と言われ、外に出されて「出てけ」と言われた
- ・近所の家の夏ミカンを取ったのを親が何回も取ったと勘違いしてお尻をいやというほどたたかれた
- ・問題をいい加減にやっていたので手を引っ張られて、廊下に連れて行かれて「出てけ！」と言われた

自分が悪かったのだから仕方がないと感じる例

- ・塾でぜんぜん勉強をしないでテストを受けて、とてもひどい点数をとり、お父さんが教えてくれた科目がボロボロだったので、たたかれて、つねられて文句を言われてすごかった
- ・幼稚園のレモンをもぎ取って家に持ち帰って、家の人全員にもすごい剣幕で怒られた
- ・お母さんに言い返したら、口でさんざん言われて暴力をふるわれた
- ・友だちをひっかいて傷をおわせて、なぐられ、さんざん口でくどかれ、一日中外に出されっぱなしだった
- ・ぐずぐずしてはお風呂に行かなくて親をずっと待たせてしまったとき、妹と一緒に怒られた
- ・あまり勉強してなくて、見つかって夜中じゅう勉強をさせられた
- ・お母さんにひどいそをついて、逆さ吊りにされてベランダに出され、その後もしばらく口をきいてくれなかった
- ・勉強を家でぜんぜんせずにゲームをしていたら、お母さんに怒鳴られたり、たたかれた
- ・お母さんに内緒で買い食いしたら、ものすごく怒られた
- ・友だちと遊んだ後「5時までに帰ってね」と言われたのに5時30分に帰ったら、家のカギをかけて入れてもらえなかった
- ・バイオリンの練習がいやでバイオリンを投げつけて「行きたくない」と言ったら、カッと本気になってほおをぶたれた
- ・お父さんが大事な書類を書いているとき、邪魔をしたら、ぶたれた
- ・うるさくしちゃいけないと言われたのにうるさくしていたら、お尻をたたかれた

- ・けんかをして3回やめると注意されたのにやめなかったから、掃除機の棒で何回かたたかれた
- ・夜遅くまで遊んでいて、「あんた何やってんの」と言われ30分くらい怒鳴られてたたかれた
- ・妹と2階で遊んでいたとき、口論になり、たたき合っていたら落ちて「何やってるの、けがしたらどうするの」と言われた
- ・父に「ばか」と言ったら怒られた
- ・宿題をしないで外で遊んでいて、ご飯も食わずに家の中で9時頃まで遊んでいたら、1時間正座をしてたたかれて部屋に閉じ込められた
- ・友だちと口げんかをして、自分からその子をたたいてしまったとき、長い時間口で怒られ、ほおをたたかれた
- ・母が買ってはいけないと言うものを買ってしまい、たたかれた
- ・釣りに行って海に落ちそうになって、「危ないじゃないか」とぶたれて怒られた
- ・学校帰りに友だちの家に行ったら、父にこっぴどく叱られた

あのくらい叱られてよかったと感じる例

- ・テストが悪くてお母さんにボコボコにされて、たたかれた
- ・柔道をずるやすみして正座をさせられた
- ・バイオリンのコンサートのリハーサルでとても下手に弾いたら、ものすごく怒られた
- ・お父さんのおわんを割ったとき、1時間くらい話をきいてもらえなかった
- ・親の口紅を勝手に使い、それを友だちが持って帰ってしまい、ゆっくりとわかるように叱ってくれた
- ・悪ふざけをしてガラスを割り、ぶたれて外に出された
- ・自転車に乗っていて小さい子にぶつかってしまい、ひどく叱られた
- ・友だちにひどいことをしたり、自分が悪いことをしたとき、少しぶたれたりした
- ・弟をいじめて外に出された
- ・母が説明しているのにイジイジして、外に出され口をきいてもらえなかった

わいわい・ガヤガヤ 子どもの広場

東京学芸大学教授	深谷和子
東京学芸大学大学院生	平野真穂
東京学芸大学大学院生	杉本記久恵
東京学芸大学大学院生	吉野真弓



わいわい・ガヤガヤ 子どもの広場

子どもたちに聞いてみたい。
君たちが昨日みた夢、今日みる夢。その夢の色、
その匂い、その手ざわり。

日頃のアンケート調査からは、聞こえてこなかった
子どもたちの声をお届けします。
小4・5・6年生の子どもたち、246人との交信です。

(印は子どもの声、 < >内はコメントです)



あなたのいいところ(長所)は？



やさしい(小6)

明るい(小6)

思いやりのあるところ(小5)

素直(小5)

勉強が好き(小5)

スポーツが得意(小5)

<なんだか就職試験の答えみたい。もっと
あなたらしいものはないのかな>

ケンカをきらう(小5)

みんなにやさしいこと(小5)

ちょっとしたことで、いちいち怒らない
(小5)

あまり友だちとケンカをしたことがない
(小5)

<いい子すぎるよ、君たちは。時にはケン
カだってできなきゃ。もっとお互い、言
いたいことを言おうよ。せーの、ほら>

秘密にしていることは、ちゃんと秘密にし
ている(小5)

<秘密をだまっているなんて、えらいぞ。
ついしゃべりたくなっちゃうもんね。実は
私、黙っているのが苦手だから>

いろんなことに挑戦する(小5)

習い事をずっと続けていること(小6)
幼稚園のころからずっとスイミングに通っ
ていること(小6)

1つのことに熱中すること(小5)

<継続は力なり。えらいね>

やすらかな心、無口(小6)

<なんだか元気がないね。疲れてるみたい。
やすらかな心はおとなになってからで十分>

とくにない(小6)

わからない(小6)

なし(小5)

<本当に、いいとこないの？ 自分じゃ気
がついていないだけかも。まわりの人に聞
いてみようよ、「わたしのいいところって

どこ」ってね>

みんなの言うことをきく(小6)

<それ、親があなたの「いいところ」だっ
て言うの? 自分の意見をもたなくちゃ。
何でもイエスマンじゃつまらないし、上手
に自己主張するのも大事なことよ>

天然ぼけ入っているところ(小6)

<あなたがいるだけで、みんなの空気がな
ごむんだね、きっと。大事な人だね>

好きなことしかしない(小6)

<若いときは、いろんなことに挑戦してみ
ようよ>

お母さんのお手伝い(小5)

夕食の片づけをしたり、知り合いのめんど
うをみること(小5)
妹のめんどうをみてあげること(小5)
年下のめんどうをみる。進んでお手伝いを
する(小5)
<家のお手伝いをするのは「いい子」なん
だけど、でもこう答えてくれた子が女子ば

っかりなんで、私は腹を立ててる!>

おとなを大切にしている(小4)

<なんだか胸にくるよ。やさしい子だね、
君は>

男でも女でも関係なしに遊ぶ(小4)

<ジェンダーフリーなんだ、おとなの言葉
で言えばね。えらいね>

お笑い系です(小5)

友だちを笑わせる(小5)

笑い上手(小6)

<今は、みんなの「笑い」をとるのが友だ
ちの中で、とっても大事なことみたい。テ
レビの影響かな? 少しうすっぺらな気が
しちゃう>

友だちと仲良くできること、明るくニコニ
コ元気なところ(小6)

<ニコニコ元気も、ときにはつらいよね>

できるまで、あきらめない(小5)

夢がある(小6)

<おとなになってもそうありたい。生きる



あなたの悪いところ(短所)は?

親の言うことをきかない(小6)

わがママを言う(小5)

家で口答えする(小5)

すぐ、ふてくされる(小6)

<いつもお父さん、お母さんに言われてい
るんだね。でも子どもだって言い分はある
よね>

あきっぱい(小6)

ウソをつく(小6)

自分勝手(小5)



すぐおこる(小5)

短気(小6)

<おとなだって、そうだよ>

暴力的なところ(小6)

暴力とまけずぎらい(小4)

男子に暴力をふるうところ(小4)

家でちょっとしたことで怒ると、どなる
(小5)

<女の子も強くなったね。頼もしいって言
っちゃいけないかな>

やられたらやりかえす(小4)
ムカムカすると、すぐ八つ当たりしてしまう(小5)
すぐキレること(小5)
<たまにはそのくらい、むちゃくちゃなところがあってもいいよ。人間だからね>

あきらめが悪い(小5)
<あきらめが悪いのは、いいと思うよ。短所じゃないよ>

嫌いな人と会ったら無視してしまうこと(小5)
<だれでも、嫌いな人とつきあうのはむずかしいよね>

言いたいことを言えない(小5)
友だちの悪いところを悪いと言えない(小4)
<悪いところをはっきり言えるのが本当の友だちなんだよね>

言葉づかい(小5)
けんかをするときすぐ口に悪い言葉がでてくる(小5)
口のきき方が悪い(小4)
<大丈夫、気をつけていれば、そのうち直るよ>

早く終わらせようと思ってしまうところ(小5)
<てきぱきしていい性格かもしれないのに>

お金をすぐ使ってしまう(小5)
お金の無駄づかい(小5)
買ったものにすぐあきる(小5)
<そんなにお金もらっているの? 親のしつけが悪いね>

勉強のできが悪いこと(小5)
勉強が大の苦手(小5)
勉強をしない(小6)
<勉強、勉強と言わないでください。お母さん、お父さん。勉強が苦手なのは、親の遺伝因子のせいじゃないですか>

人の話にすぐ首をつっこみたがる(小5)
<人の話に興味を持つのは、心が元気な証拠。興味が持てなくなったら「死に体」みたいなものよ>

いつも口をぽかーんとあけている(小6)
<ほのぼのしていいじゃない。おおいに、ぽかーんとしようよ>

いたずらばかりすること(小6)
<いたずら大いに結構。どんどんやって、みんなをびっくりさせちゃえ>

自分の意見を通しすぎる、イヤなことがあるとヒステリーを起こす(小6)
<思い通りにならないことってあるよね。深呼吸してー、楽に行こうよ>

ガンコなところ(小6)
<ガンコは「自分がある」証拠。胸を張っていいよ。でも、たまには人の意見も聞こうね>

現実的すぎる(小6)
<おとなが夢をみれないから、子どもに伝染しちゃったわけだ。おとなの責任だね>

すぐにいじけるところ(小4)
すねること(小4)
<人と比べられるのってイヤだよ。私だってイヤ>



今、いちばんほしいものは？



ハムスター・犬・ウサギ・生き物(小5)
<お友だちも、みんなほしがってる。動物は、きょうだいの代わりだね。お姉さんも一人暮らしだけど、ウサギと一緒に暮らしてるんだ。おかしい？>

カラーのゲームボーイ(小5)
インターネットができるパソコン(小5)
<みんな、パソコン欲しがってるよ。夢の箱なんだね。なんていったって、君たちが21世紀をつくるんだから>

ラジコン(ヘリコプター)(小5)
<男の子の定番だね、昔から>

プレステのクラッシュ・バンディクー2
(小5)

チョコボ(小5)
<お菓子の名前？ 暗号みたいなのが多くってむずかしいよ>

広い家と生き物とお金と水槽と戦車
<うわあ、生き物と仲良く暮らしたいの？ それとも戦車で誰かと戦うの？ それとも誰かを守るの？>

自分の部屋(小4)
<みんなほしがってるね。そろそろ、自分1人の空間が欲しくなってくる年齢だよね>

ドラえもん(小5)
<ドラえもんのポケットは、おとなだって

ほしーい>
カラオケセット(小5)
おっきなお家(小5)
<小さい家にもいっぱいいいところがあるよ。「ねえ」っていえば、すぐに誰かが答えてくれるところとか、朝、台所から聞こえるトントンという音とかさ>

いのち、もう一つ(小4)
<いのちは1つしかないからいいんだよ。ゲームと違ってやり直せないから、昨日も今日も明日も、君にとってかけがえのないものになる>

世界(小5)
<そう、世界はみんなのもの。もちろん君のものでもあるよ。君はどんな世界で活躍するのかな>

お菓子たくさんとローラーブレードとベット(小5)
豪邸・デパート・お金(小5)
<こりゃ、大物ばかりだね>

かっこいいお兄ちゃん(小6)
<もうじき、コイビトって言うようになるかも>

私のことをいつも考えてくれるような、やさしい相談相手(小6)
<うん、うん>

夏休み(小6)

<先月終わったばかりなのにね>
幸せ・魔法のランプ・ドラえもん・家・お
金・犬などなど(小5)
自由な時間(小6)
1100人の親友(小4)

誰とでも会える鏡(小6)
自然を多くした、幸せな世の中(小6)
<ほしいものがいっぱいあるっていいね>
とくはない(小5)



4 あなたが世の中で、いちばん
コワイものは何？



肉食の鮫・先生・ジェイソン(小5)
<あなたの先生を、人喰い鮫と並べるわけ？>

おばけ(小5)
こわい夢(小5)
火山・台風・竜巻・洪水(小5)
海・川・沼・砂漠・ジャングル(小6)
ハチ(小5)
ブヨ(小5)
病気(小6)
夜中の学校(小5)
すぐキレル中学生(小5)
<なんだかわかんないけど、とにかくこわ
いね>

お兄ちゃん(小4)
勉強・お父さん・お母さん(小5)
怒ったお父さん・怒ったお母さん(小5)
<世界中でいちばんあなたにやさしい人た
ちなんだよ、本当は>

他人(小4)
近所のおじさん(小4)
学校の女子(小5)
<他人は確かにこわいね>

先生(小5)
先生の目つき・先生のキレたところ(小5)
おとな・先生ども(小6)
塾の先生・殺人鬼(小6)

<先生がそんなにこわいの？>

ヒ素などのこわい薬品(小5)
交通事故(小5)
借金(小4)
死(小6)
犯罪(小6)
ニュースにでている犯人(小5)
新宿(小6)
刃物・世界恐慌(小6)
核実験(小5)
銃(小5)
死ぬこと・殺されること(小5)
<世の中はこわいものがたくさんあるね。だから
家族や友だちが大事なんだね>

人間の欲望(小6)
<6年生でもう君は「人生哲学」を持っ
てるね>

ノストラダムスの予言(小6)
地震・火事・雷・地球の破滅(小5)
戦争・幽霊・隕石(小5)
不景気・宇宙戦争(小6)
<SFの世界ね>

みんなに嫌われてしまうこと・家族と離れ
てしまうこと(小6)
<うん、うん、それがいちばんこわいこと
かもしれないね>

募集!

「わいわい・ガヤガヤ - 子どもの広場 - 」の調査にご参加くださるクラスを募集しています。

1. クラス単位でお申し込みください。記入用紙(B 4 ・ 2 枚程度)はお送りいたします。
2. 書いたお子さんが特定できるような、プライバシーにふれる内容は拾いませので、ご安心ください。
3. 10クラス程度を募集します。はじめにまとめて学校名を下記のように入れさせていただきますが、ご都合で伏せていただいても結構です。
小学校、 小学校、 小学校.....の4年、5年、6年の皆さん
4. ご応募が多いときは、ご希望に添えない場合もありますことをお含みください。



もし火事になったら、あなたは
何を持って逃げる？



食べ物(水も)、お金、家族(小4)
ふとん、ぬいぐるみ、学校の道具(小4)
お金(お財布も)と食料、リュックサック、
ゲームボーイなどのゲーム(電池でできる
もの)(小6)
マイヘルメ、馬のぬいぐるみ、お財布、な
ぎ(ペット、キャリーバッグつき)、電
池、ゲームソフト、ゲームボーイ、カウ
ンセラーからのお手紙、食料(小5)
<最後に食料を思い出したってわけね>

貯金通帳、家の全財産、家の電気製品、家
の食料全て(小4)
食料、ぬいぐるみ、洋服、ゲーム、ねぶく
ろ、机にあるもの、とにかく全部(小5)
ベッドの上にある人形20個全部!!(小5)
家の中のものを全て持って逃げる(小5)
家(小6)
<「家」が持って逃げられたらいいね>

L 'Arc ~ en ~ CielのCD、ポスター!
CDプレイヤー(小6)
フォークギターと釣り道具(小6)
池野恋のマンガ(そろえたやつ全部)と大
事な写真が入った手帳とお金など(小5)
プレイステーションとそのゲーム、野球の
道具、パソコン(小5)
<みんな、高いもの持ってるね>

赤ちゃんのときもらった、ハローキティの
人形(小4)
犬、死んだ犬の骨、通帳、現金(小5)
アルバム(小5)
<思い出は誰にも大事だね>

家族の手をとって逃げる(小6)
<家族あってこそこの世界だものね>



あなたが一番熱中していることってなあに？



好きな歌手の歌を覚えて歌うこと。絵本を作ったりします(小6)

友だちからもらったチェーン(?)、ブランベリーヘッジのグッズ、手紙、ハーブの関係(小5)

ギター(小6)

文通(小6)

花ことば(小5)

映画鑑賞(小6)

シマリスの飼い方を調べること(小4)

洋服のデザインをかくこと(小4)

手話(小4)

読書。『マミィ』という赤ちゃん雑誌の育児書(小6)

<子ども時代はいいね。ほのぼのしてくる>

ラジオを聞く、音楽を聴く、テレビを見る(小6)

とんねるずのエアロビ(小6)

ゲームボーイ、NINTENDO64、プレステ(小5)

L'Arc ~ en ~ CielのCDを聴くこと!(小6)

遊戯王 モンスターカプセルブリード&バトル(小4)

育てゲーム(小4)

ポケモンピカチューパーバージョン(小4)

<メディアの世界を生き生きと泳いでる君たち!>

羽田に行くこと(小6)

モトクロス「バイク」(小6)

500円集め(小6)

ジターリング(小5)

気功、ガムラン(小6)

<もうおとななんだね、小学生は!>

野球(小6)

学校に行って、たくさんの友だちとしゃべったり、遊んだりすることです(小6)

<お友だちとの「遊び」をあげた人は、すごく少なかった。寂しいね>

ジャニーズJr.、受験勉強(小6)

勉強(小4)

<勉強に熱中してるって、いいことなのか悪いことなのか。親は喜んでるだろうけど、それでいいのかな>

中古ゲームソフトを売ること(小5)

水草を増やして、売ろうとしている(小4)

貯金(小4)

<私はイヤだね、こういうことに熱中する子は。20年後にしてよ>

生きること(小5)

<いいね、いいね。ちょっとできすぎてる答えだけど、でも、心からそう言える自分>

この「わいわい・ガヤガヤ - 子どもの広場 -」は1998年9月、首都圏の小学4・5・6年生246名にオープンアンサー形式の質問紙を配布し、その中からアンケート調査とは別の形で、子どもの本音を拾い出そうとしたものである。

なお、本文中のコメントは深谷研究室で皆で話し合った内容をまとめたものである。

ちょうさのおねがい

これはテストではありません。日本の子どもたちにたくさんおねがいで、その生活をしらべるためのものです。思ったことをそのまま答えてください。

やりかたの練習

あなたはカレーライスが好きですか？

とても すき	かなり すき	ふつう	すこし きらい	とても きらい
1	②	3	4	5

あなたがもしカレーライスを「かなりすき」だと思ったら
上のように番号のところを でかこんでください。

1 まず、あなたの学校、男女などを教えてください。

1) 学校の名前..... () 小学校

2) 学 年..... (1 . 4年 2 . 5年 3 . 6年) < でかこむ >

3) 男・女..... (1 . 男子 2 . 女子) < でかこむ >

4) あなたは何人きょうだいの何番目ですか。

きょうだい数 () 人(あなたも入れて)

あなたはその中で () 番目

資料1 調査票見本

これからきいていくのはお母さん、お父さんについてのことです。どちらかが、今家にいないなどであてはまらないときはとばして、つぎのしつ問に教えてください。

2) あなたがつぎのようなことをしたら、お母さんやお父さんはしかると思いますか、それともしからないと思いますか。

1) お母さんはどうだと思いますか。

	とてもつよく しかる	かなり しかる	すこし しかる	まったく しからない
1. レストランなどで、あなたが大声を出してふざげていたら.....	1	2	3	4
2. よそ見をしながら、自転車にのっていたら.....	1	2	3	4
3. 親が近所の人にあいさつをしたのに、あなたはしらん顔をしていたら.....	1	2	3	4
4. 電車の中で、お年よりに席をゆずらなかつたら.....	1	2	3	4
5. クラスの友だちとけんかをして、仲間おりをしなかつたら.....	1	2	3	4
6. 自分のつくえや部屋を何日もちらかしたままにしていたら.....	1	2	3	4
7. きらいなおかずを一口も食べなかつたら...	1	2	3	4
8. 言いつけられたお手つだいをわすれていたら.....	1	2	3	4
9. 家のお金を持ちだして、買い食いをしたら.....	1	2	3	4
10. じゅくやおけいごとをさぼつたら.....	1	2	3	4
11. 学校やじゅくのテストで、へいきん点以下をとつたら.....	1	2	3	4
12. 明日テストなのに、テスト勉強をしないで遊んでいたら.....*	1	2	3	4
13. 友だちとけんかをして、相手が学校を休んでしまったら.....	1	2	3	4
14. 12時ごろまでおきていて、テレビを見ていたら.....	1	2	3	4

- | | とてもつよく
しかる | かなり
しかる | すこし
しかる | まったく
しからぬ |
|-------------------------------|---------------|------------|------------|--------------|
| 15. 親に何度よばれても、へんじをしなかったら..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 16. しかられて、親に「うるさいな」と言ったら..... | 1 | 2 | 3 | 4 |

2) お父さんはどうすると思いますか。

- | | とてもつよく
しかる | かなり
しかる | すこし
しかる | まったく
しからぬ |
|---|---------------|------------|------------|--------------|
| 1. レストランなどで、あなたが大声を出してふざけていたら..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 2. よそ見をしながら、自転車にのっていたら..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 3. 親が近所の人にあいさつをしたのに、あなたはしらん顔をしていたら..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 4. 電車の中で、お年よりに席をゆずらなかつたら..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5. クラスの友だちとけんかをして、仲間おりをしなかつたら..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 6. 自分のつくえや部屋を何日もちらかしたままにしていたら..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 7. きらいなおかずを一口も食べなかつたら... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 8. 言いつけられたお手つだいをわすれていたら..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 9. 家のお金を持ちだして、買い食いをしたら..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 10. じゅくやおけいごごとをさぼつたら..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 11. 学校やじゅくのテストで、へいきん点以下をとつたら..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 12. 明日テストなのに、テスト勉強をしないで遊んでいたら..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 13. 友だちとけんかをして、相手が学校を休んでしまったら..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 14. 12時ごろまでおきていて、テレビを見ていたら..... | 1 | 2 | 3 | 4 |

資料1 調査票見本

- | | とてもつよく
しかる | かなり
しかる | すこし
しかる | まったく
しからない |
|-------------------------------|---------------|------------|------------|---------------|
| 15. 親に何度よばれても、へんじをしなかったら..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 16. しかられて、親に「うるさいな」と言ったら..... | 1 | 2 | 3 | 4 |

3) では、つぎのようなときに、お母さんやお父さんはほめると思いますが、それともほめないと思えますか。

1) お母さんはどうすると思えますか。

- | | とてもたくさん
ほめる | かなり
ほめる | すこし
ほめる | まったく
ほめない |
|--|----------------|------------|------------|--------------|
| 1. 電車の中で、自分からお年よりに席をゆずったら..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 2. 道でないている、小さい子のめんどうをみてあげたら..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 3. 近所の人にあったとき、自分から頭を下げてあいさつをしたら..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 4. 知らない人から電話があったとき、きちんと話ができたら..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5. 言われなくても、食事づくりのお手伝いをしたら..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 6. 言われなくても、部屋をきれいにしたら... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 7. 学校やじゅくのテストで100点をとったら..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 8. 言われなくても、自分から夜おそくまで勉強をしたら..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 9. 運動会のかけっこや水泳で、1番の成せきをとったら..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 10. 作文コンクールで、全国1位になったら... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 11. 下校のとき、かさのない友だちをわざわざ家まで送ってあげたら..... | 1 | 2 | 3 | 4 |

2) お父さんはどうだと思いますか。

	とてもたくさん ほめる	かなり ほめる	すこし ほめる	まったく ほめない
1. 電車の中で、自分からお年よりに席を ゆずったら.....	1	2	3	4
2. 道でなしている、小さい子のめんどうを みてあげたら.....	1	2	3	4
3. 近所の人にあったとき、自分から頭を 下げてあいさつをしたら.....	1	2	3	4
4. 知らない人から電話があったとき、 きちんと話ができたら.....	1	2	3	4
5. 言われなくても、食事づくりの お手つだいをしたら.....	1	2	3	4
6. 言われなくても、部屋をきれいにしたら...	1	2	3	4
7. 学校やじゅくのテストで100点を とったら.....	1	2	3	4
8. 言われなくても、自分から夜おそくまで 勉強をしたら.....	1	2	3	4
9. 運動会のかけっこや水泳で、1番の 成せきをとったら.....	1	2	3	4
10. 作文コンクールで、全国1位になったら...	1	2	3	4
11. 下校のとき、かさのない友だちを わざわざ家まで送ってあげたら.....	1	2	3	4

4) あなたがつぎのようなことをしてしまったとき、家の人はどうだと思いますか。

	とても しかる	すこし しかる	おこった 顔をする	何も 言わない	なくさめて くれる
1. お手つだいをしていて、お父さんの 大事な茶わんをわってしまったら.....	1	2	3	4	5
2. 親にたのまれてお使いに行って、 5000円札を落としてしまったら.....	1	2	3	4	5
3. 一生けんめい勉強したのに、テストで 名前を書きわすれて0点をとったら.....	1	2	3	4	5
4. ボール投げをされていて、よその家の ガラスをわってしまったら.....	1	2	3	4	5

資料1 調査票見本

5 家ではいつも、どんなふうにしかられますか。

1) お母さんはどんなふうにしかりますか。

- | | よく
ある | ときどき
ある | たまに
ある | あまり
ない | 一度も
ない |
|------------------------------------|----------|------------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 口で注意される..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 2. 言葉で、長い時間ずっと、くどくどと
しかられる..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 3. どなられる..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 4. むしされる..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 5. たたかれたり、たいばつされる..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

2) お父さんはどうですか。

- | | よく
ある | ときどき
ある | たまに
ある | あまり
ない | 一度も
ない |
|------------------------------------|----------|------------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 口で注意される..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 2. 言葉で、長い時間ずっと、くどくどと
しかられる..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 3. どなられる..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 4. むしされる..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 5. たたかれたり、たいばつされる..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

6 家でほめられるとき、どんなふうにほめられますか。

1) お母さんはどんなふうにほめますか。

- | | よく
ある | ときどき
ある | たまに
ある | あまり
ない | 一度も
ない |
|-----------------------------------|----------|------------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 「えらかったね、よかったね」と
言ってくれる..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 2. よその人の前であなたをじまんする..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 3. ごほうびにどこかへつれて行って
くれる..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 4. お金をくれたり、ほしい物を買って
くれる..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

2) お父さんはどうですか。

- | | よく
ある | ときどき
ある | たまに
ある | あまり
ない | 一度も
ない |
|-----------------------------------|----------|------------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 「えらかったね、よかったね」と
言ってくれる..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 2. よその人の前であなたをじまんする..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 3. ごほうびにどこかへつれて行って
くれる..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 4. お金をくれたり、ほしい物を買って
くれる..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

7) あなたは、お母さんやお父さんのしかり方について、どんなふうに思いますか。

- | | いつも
そう思う | ときどき
そう思う | あまり
そう思わない | ぜんぜん
そう思わない |
|------------------------------------|-------------|--------------|---------------|----------------|
| 1. しかりすぎだと思う..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 2. 親のきげんがわるいから、しかられて
いると思う..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 3. うるさいと思う..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 4. かえって、やる気がなくなる..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5. 親がひどく、にくらしくなる..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 6. しかられても、しかたがないと思う..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 7. これからしかられないように
がんばろうと思う..... | 1 | 2 | 3 | 4 |

8) では、お母さんやお父さんのほめ方については、どんなふうに思いますか。

- | | いつも
そう思う | ときどき
そう思う | あまり
そう思わない | ぜんぜん
そう思わない |
|--------------------------------------|-------------|--------------|---------------|----------------|
| 1. 何をしても、あまりほめてもらえない..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 2. そのときの親の気分でほめたり、
ほめなかったりする..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 3. わざとらしいほめ方をする..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 4. つぎも、もっとほめられるように
がんばろうと思う..... | 1 | 2 | 3 | 4 |

資料1 調査票見本

9 お母さんはしかるとき、子どもの言いわけや理由をきいてくれますか。どちらかにをつけてください。

1. 何もきいてくれないで、しかることが多い
2. なぜそんなことをしたか、ていねいにきいてくれることが多い

10 お父さんはしかるとき、子どもの言いわけや理由をきいてくれますか。どちらかにをつけてください。

1. 何もきいてくれないで、しかることが多い
2. なぜそんなことをしたか、ていねいにきいてくれることが多い

11 あなたは今までに、よそのおとなにしかられたことがありますか。

	何度も ある	2～3回 ある	1回くらい ある	一度も ない	そういう ことはした ことがない
1. 道路でふざけていて、よその人に しかられたこと.....	1	2	3	45
2. バスや電車の中でさわいで、よその人 にしかられたこと.....	1	2	3	45
3. よその家の花やくだものをもって、 しかられたこと.....	1	2	3	45
4. よその家のガラスをわって、 しかられたこと.....	1	2	3	45
5. 小さい子や友だちとけんかをして、 相手の親があなたの家にもんくを 言いに来たこと.....	1	2	3	45
6. おそくなるまで外で遊んでいて、 よそのおとなにしかられたこと.....	1	2	3	45
7. 友だちをいじめたりけがをさせたり して、親といっしょに相手の家に あやまりに行ったこと.....	1	2	3	45

12 あなたは今までに、よそのおとなにほめられたことがありますか。

	何度も ある	2～3回 ある	1回くらい ある	一度も ない	そういう ことはした ことがない
1. 道をきかれて、教えてあげて ほめられたこと.....	1	2	3	45
2. 電車の中で、お年よりに席をゆずって ほめられたこと.....	1	2	3	45
3. 近所の人に、きちんとあいさつが できてほめられたこと.....	1	2	3	45
4. 駅の人やお店の人と、きちんと話が できてほめられたこと.....	1	2	3	45
5. 近所の家の前のそうじや雪かきなどを してあげてほめられたこと.....	1	2	3	45
6. 道路や公園などをそうじしていて ほめられたこと.....	1	2	3	45
7. お使いなど、お手つだいをしていて ほめられたこと.....	1	2	3	45
8. よその小さい子と遊んであげて ほめられたこと.....	1	2	3	45

13 お母さんやお父さんは、あなたがショックなことがあって、学校に行きたくないと思うとき、あなたに役に立つようなことを言ってくれますか。
あてはまるもの1つに をつけてください。

1) お母さんはどうですか。

1. いつも役に立つことを言ってくれる
2. ときどき役に立つことを言ってくれる
3. あまり役に立つことは言ってくれない
4. 話をきいてくれない
5. お母さんにはそうだしたくない

資料1 調査票見本

2) お父さんはどうですか。

1. いつも役に立つことを言ってくれる
2. ときどき役に立つことを言ってくれる
3. あまり役に立つことは言ってくれない
4. 話をきいてくれない
5. お父さんにはそうだしたくない

14) あなたは、お母さんが好きですか。

とても 好き	わりと 好き	ふつう	あまり 好きでない	きらい
1	2	3	4	5

15) あなたは、お父さんが好きですか。

とても 好き	わりと 好き	ふつう	あまり 好きでない	きらい
1	2	3	4	5

16) お母さんは、どんな人ですか。

	とても そう	すこし そう	あまり そうでない	ぜんぜん そうでない
1. こわい.....	1	2	3	4
2. うるさい.....	1	2	3	4
3. イライラする.....	1	2	3	4
4. やさしい.....	1	2	3	4
5. よくあなたのせわをしてくれる.....	1	2	3	4

17) お父さんは、どんな人ですか。

	とても そう	すこし そう	あまり そうでない	ぜんぜん そうでない
1. こわい.....	1	2	3	4
2. うるさい.....	1	2	3	4
3. イライラする.....	1	2	3	4
4. やさしい.....	1	2	3	4
5. よくあなたのせわをしてくれる.....	1	2	3	4

18 お母さんやお父さんと、あなたのことを教えてください。

- | | とても
そう | すこし
そう | あまり
そうでない | ぜんぜん
そうでない |
|-----------------------------------|-----------|-----------|--------------|---------------|
| 1. 食事のとき、みんなでよく話をする..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 2. 学校であったことをみんなでよく話をする..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 3. あなたの気持ちや考えていることを親はわかってくれる..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 4. あなたの言うことを親はゆっくりきいてくれる..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5. あなたのことを親は大事にしてくれていると思う..... | 1 | 2 | 3 | 4 |

19 あなたは、どんな子ですか。

- | | とても
そう | すこし
そう | あまり
そうでない | ぜんぜん
そうでない |
|------------------|-----------|-----------|--------------|---------------|
| 1. 明るい..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 2. 友だちが多い..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 3. 外で遊ぶのが好き..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 4. 運動がとくい..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5. 勉強がとくい..... | 1 | 2 | 3 | 4 |

20 あなたは今までに親から、うんとしかられて、ぶたれるなどのひどいしかられ方をしたことがありますか。

- | | たくさん
ある | 何回か
ある | 1回くらい
ある | 一度も
ない |
|-------------------------|------------|-----------|-------------|-----------|
| 1. たたかれたこと..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 2. つねられたこと..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 3. 家の外に出されたこと..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 4. 食事を食べさせてもらえなかったこと... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5. ずっと口をきいてもらえなかったこと... | 1 | 2 | 3 | 4 |

資料1 調査票見本

- 21 いちばんひどいしかられ方は、何さいのころ、なぜ、どんなふうにしかられましたか。もしよかったら書いてください。

それは今思うと、どうですか。つぎの3つのうち、1つに をつけてください。

1. ひどすぎる
2. 自分がわるかったのだから、しかたがない
3. あのくらい、しかられてよかった

～これで終わりです。どうもありがとう。～

資料2 基礎集計表

単位：サンプル数以外はパーセント

質問項目		全体	性別			
			男子	女子		
サンプル数		1,791	935	856		
①	本人	学年	1. 4年	32.4	32.8	31.9
			2. 5年	32.3	30.7	34.0
			3. 6年	35.3	36.5	34.1
		きょうだい数	1. 1人	10.7	10.5	10.9
			2. 2人	54.0	52.6	55.7
			3. 3人	29.1	29.0	29.1
			4. 4人	4.9	6.2	3.5
			5. 5人	0.9	1.1	0.7
			6. 6人以上	0.4	0.6	0.1
	きょうだい順	1. 1番目	45.3	46.3	44.5	
		2. 2番目	39.9	38.5	41.4	
		3. 3番目	12.8	13.3	12.2	
4. 4番目		1.6	1.6	1.7		
5. 5番目		0.2	0.1	0.2		
6. 6番目以降		0.2	0.2	0.0		
②	叱り方	1. レストランなどで、大声を出してふざけていたら	1. とても強く叱る	15.9	18.2	13.5
			2. かなり叱る	37.9	38.6	37.1
			3. 少し叱る	45.2	41.8	48.8
			4. まったく叱らない	1.0	1.4	0.6
		2. よそ見をしながら、自転車で乗っていたら	1. とても強く叱る	8.8	9.5	8.0
			2. かなり叱る	23.0	24.0	22.0
			3. 少し叱る	56.8	51.7	62.2
			4. まったく叱らない	11.4	14.8	7.8
		3. 親が近所の人にあいさつをしたのに、知らん顔をしていたら	1. とても強く叱る	7.9	9.1	6.6
			2. かなり叱る	22.3	21.2	23.6
			3. 少し叱る	59.5	57.0	62.1
			4. まったく叱らない	10.3	12.7	7.7
		4. 電車の中で、お年寄りに席をゆずらなかつたら	1. とても強く叱る	4.4	5.1	3.6
			2. かなり叱る	11.4	11.1	11.6
			3. 少し叱る	49.3	44.8	54.4
			4. まったく叱らない	34.9	39.0	30.4
		5. クラスの友だちとけんかをして、仲直りをしなかつたら	1. とても強く叱る	4.1	5.6	2.5
			2. かなり叱る	13.2	13.9	12.6
	3. 少し叱る		41.6	39.9	43.4	
	4. まったく叱らない		41.1	40.6	41.5	
	6. 自分の机や部屋を何日も散らかしたままにしていたら	1. とても強く叱る	20.4	21.3	19.4	
		2. かなり叱る	38.6	39.2	38.0	
		3. 少し叱る	33.2	30.8	35.7	
		4. まったく叱らない	7.8	8.7	6.9	
	7. 嫌いなおかずを一口も食べなかつたら	1. とても強く叱る	8.9	9.8	8.0	
		2. かなり叱る	22.9	23.7	22.2	
		3. 少し叱る	52.7	50.5	54.9	
		4. まったく叱らない	15.5	16.0	14.9	
	8. 言いつけられたお手伝いを忘れていたら	1. とても強く叱る	8.2	10.3	5.9	
		2. かなり叱る	26.8	26.6	27.0	
		3. 少し叱る	54.6	50.9	58.6	
		4. まったく叱らない	10.4	12.2	8.5	
	9. 家のお金を持ち出して、買い食いをしたら	1. とても強く叱る	61.4	64.4	58.3	
		2. かなり叱る	23.6	20.9	26.4	
		3. 少し叱る	10.2	9.5	11.0	
		4. まったく叱らない	4.8	5.2	4.3	

資料2 基礎集計表

質問項目		全 体	性 別			
			男 子	女 子		
2	叱 り 方	10. 塾やおけいこごとをさぼったら	1. とても強く叱る	33.7	35.3	32.0
			2. かなり叱る	37.2	36.4	37.9
			3. 少し叱る	22.6	21.5	23.9
			4. まったく叱らない	6.5	6.8	6.2
		11. 学校や塾のテストで、平均点以下をとったら	1. とても強く叱る	8.2	8.8	7.6
			2. かなり叱る	18.3	18.8	17.9
			3. 少し叱る	43.3	41.3	45.3
			4. まったく叱らない	30.2	31.1	29.2
	12. 明日テストなのに、テスト勉強をしないで遊んでいたら	1. とても強く叱る	10.0	12.2	7.7	
		2. かなり叱る	24.6	24.8	24.3	
		3. 少し叱る	40.1	36.8	43.7	
		4. まったく叱らない	25.3	26.2	24.3	
	13. 友だちとけんかをして、相手が学校を休んでしまったら	1. とても強く叱る	24.2	26.1	22.2	
		2. かなり叱る	35.8	33.6	38.3	
		3. 少し叱る	26.9	26.2	27.6	
		4. まったく叱らない	13.1	14.1	11.9	
14. 12時頃まで起きていて、テレビを見ていたら	1. とても強く叱る	26.8	26.2	27.4		
	2. かなり叱る	34.1	32.2	36.1		
	3. 少し叱る	29.0	29.3	28.8		
	4. まったく叱らない	10.1	12.3	7.7		
15. 親に何度呼ばれても、返事をしなかったら	1. とても強く叱る	15.8	17.7	13.8		
	2. かなり叱る	37.3	36.5	38.1		
	3. 少し叱る	40.9	39.6	42.3		
	4. まったく叱らない	6.0	6.2	5.8		
16. 叱られて、親に「うるさいな」と言ったら	1. とても強く叱る	45.1	46.7	43.4		
	2. かなり叱る	34.6	35.0	34.1		
	3. 少し叱る	16.5	14.4	18.9		
	4. まったく叱らない	3.8	3.9	3.6		
父 親	1. レストランなどで、大声を出してふざけていたら	1. とても強く叱る	23.3	28.6	17.5	
		2. かなり叱る	31.5	34.1	28.8	
		3. 少し叱る	37.2	30.2	44.8	
		4. まったく叱らない	8.0	7.1	8.9	
	2. よそ見をしながら、自転車で乗っていたら	1. とても強く叱る	11.9	14.1	9.6	
		2. かなり叱る	23.3	22.3	24.4	
		3. 少し叱る	44.8	41.6	48.0	
		4. まったく叱らない	20.0	22.0	18.0	
	3. 親が近所の人にあいさつをしたのに、知らん顔をしていたら	1. とても強く叱る	9.9	11.4	8.4	
		2. かなり叱る	20.7	22.0	19.4	
		3. 少し叱る	49.7	46.3	53.2	
		4. まったく叱らない	19.7	20.3	19.0	
	4. 電車の中で、お年寄りに席をゆずらなかったら	1. とても強く叱る	6.1	6.7	5.3	
		2. かなり叱る	13.2	14.9	11.4	
		3. 少し叱る	44.4	40.5	48.8	
		4. まったく叱らない	36.3	37.9	34.5	
	5. クラスの友だちとけんかをして、仲直りをしなかったら	1. とても強く叱る	6.0	7.8	4.1	
		2. かなり叱る	14.3	17.3	11.0	
		3. 少し叱る	39.2	36.6	42.0	
		4. まったく叱らない	40.5	38.3	42.9	
	6. 自分の机や部屋を何日も散らかしたままにしていたら	1. とても強く叱る	17.1	20.2	13.7	
		2. かなり叱る	24.4	25.5	23.3	
		3. 少し叱る	38.8	35.2	42.7	
		4. まったく叱らない	19.7	19.1	20.3	

資料2 基礎集計表

質問項目			全 体	性 別		
				男 子	女 子	
②	叱 り 方	7. 嫌いなおかずを一口も 食べなかったら	1. とても強く叱る	12.2	14.0	10.3
			2. かなり叱る	19.5	21.2	17.6
			3. 少し叱る	43.7	42.1	45.5
			4. まったく叱らない	24.6	22.7	26.6
		8. 言いつけられたお手伝 いを忘れていたら	1. とても強く叱る	8.6	10.9	6.0
			2. かなり叱る	21.8	25.3	18.0
			3. 少し叱る	52.9	48.6	57.7
			4. まったく叱らない	16.7	15.2	18.3
		9. 家のお金を持ち出して、 買い食いしたら	1. とても強く叱る	59.2	62.9	55.3
			2. かなり叱る	23.1	21.4	24.9
			3. 少し叱る	11.6	10.1	13.1
			4. まったく叱らない	6.1	5.6	6.7
		10. 塾やおけいごとをさ ぼったら	1. とても強く叱る	25.9	31.0	20.4
			2. かなり叱る	29.1	30.0	28.2
			3. 少し叱る	32.3	27.0	38.0
			4. まったく叱らない	12.7	12.0	13.4
11. 学校や塾のテストで、 平均点以下をとったら	1. とても強く叱る	8.0	10.3	5.5		
	2. かなり叱る	16.4	18.3	14.3		
	3. 少し叱る	39.8	37.3	42.5		
	4. まったく叱らない	35.8	34.1	37.7		
12. 明日テストなのに、テ スト勉強をしないで遊 んでいたら	1. とても強く叱る	11.7	14.3	8.7		
	2. かなり叱る	20.1	21.7	18.5		
	3. 少し叱る	36.8	32.5	41.5		
	4. まったく叱らない	31.4	31.5	31.3		
13. 友だちとけんかをして、 相手が学校を休んでし まったら	1. とても強く叱る	20.6	24.2	16.8		
	2. かなり叱る	27.3	27.7	26.9		
	3. 少し叱る	34.0	28.6	39.7		
	4. まったく叱らない	18.1	19.5	16.6		
14. 12時頃まで起きていて、 テレビを見ていたら	1. とても強く叱る	25.8	27.6	24.0		
	2. かなり叱る	27.2	26.6	27.7		
	3. 少し叱る	31.0	29.1	33.0		
	4. まったく叱らない	16.0	16.7	15.3		
15. 親に何度呼ばれても、 返事をしなかったら	1. とても強く叱る	23.2	25.6	20.5		
	2. かなり叱る	30.3	32.6	27.8		
	3. 少し叱る	38.5	34.2	43.2		
	4. まったく叱らない	8.0	7.6	8.5		
16. 叱られて、親に「うる さいな」と言ったら	1. とても強く叱る	54.9	61.3	48.1		
	2. かなり叱る	25.2	22.3	28.3		
	3. 少し叱る	14.7	11.5	18.1		
	4. まったく叱らない	5.2	4.9	5.5		
③	ほ め 方	1. 電車の中で、自分から お年寄りに席をゆずっ たら	1. とてもたくさんほめる	14.4	13.5	15.3
			2. かなりほめる	29.4	27.6	31.5
			3. 少しほめる	45.2	45.5	44.8
			4. まったくほめない	11.0	13.4	8.4
		2. 道で泣いている、小さ い子のめんどうをみて あげたら	1. とてもたくさんほめる	22.5	22.1	23.0
			2. かなりほめる	36.0	33.6	38.6
			3. 少しほめる	32.7	33.1	32.2
			4. まったくほめない	8.8	11.2	6.2
		3. 近所の人に会ったとき、 自分から頭を下げたあ いさつしたら	1. とてもたくさんほめる	8.9	7.1	10.8
			2. かなりほめる	24.1	24.1	24.1
			3. 少しほめる	42.3	40.9	43.9
			4. まったくほめない	24.7	27.9	21.2

資料2 基礎集計表

質問項目		全 体	性 別				
			男 子	女 子			
3	ほめ方	母 親	4. 知らない人から電話があったとき、きちんと話ができたなら	1. とてもたくさんほめる	9.3	9.3	9.4
			2. かなりほめる	21.0	19.2	22.9	
			3. 少しほめる	35.4	34.1	36.8	
			4. まったくほめない	34.3	37.4	30.9	
			5. 言われなくても、食事作りのお手伝いをしたら	1. とてもたくさんほめる	24.9	21.4	28.7
			2. かなりほめる	30.8	30.2	31.5	
			3. 少しほめる	31.3	32.5	29.8	
			4. まったくほめない	13.0	15.9	10.0	
			6. 言われなくても、部屋をきれいにしたら	1. とてもたくさんほめる	26.8	24.4	29.4
			2. かなりほめる	28.5	30.2	26.7	
			3. 少しほめる	27.8	26.4	29.3	
4. まったくほめない	16.9	19.0	14.6				
7. 学校や塾のテストで100点をとったら	1. とてもたくさんほめる	31.8	27.9	35.9			
2. かなりほめる	29.9	30.2	29.6				
3. 少しほめる	30.4	32.2	28.5				
4. まったくほめない	7.9	9.7	6.0				
8. 言われなくても、自分から夜遅くまで勉強をしたら	1. とてもたくさんほめる	19.9	20.0	19.8			
2. かなりほめる	24.1	22.3	26.0				
3. 少しほめる	30.1	28.8	31.5				
4. まったくほめない	25.9	28.9	22.7				
9. 運動会のかげっこや水泳で、1番の成績をとったら	1. とてもたくさんほめる	35.3	30.6	40.2			
2. かなりほめる	33.5	34.7	32.3				
3. 少しほめる	25.6	27.1	24.1				
4. まったくほめない	5.6	7.6	3.4				
10. 作文コンクールで、全国1位になったら	1. とてもたくさんほめる	69.1	67.0	71.2			
2. かなりほめる	20.0	20.3	19.7				
3. 少しほめる	8.3	9.0	7.6				
4. まったくほめない	2.6	3.7	1.5				
11. 下校のとき、傘のない友だちをわざわざ家まで送ってあげたら	1. とてもたくさんほめる	20.5	20.5	20.6			
2. かなりほめる	36.5	34.7	38.4				
3. 少しほめる	30.9	31.0	30.8				
4. まったくほめない	12.1	13.8	10.2				
父 親	ほめ方	父 親	1. 電車の中で、自分からお年寄りに席をゆずったら	1. とてもたくさんほめる	15.1	14.6	15.7
			2. かなりほめる	27.6	26.2	29.2	
			3. 少しほめる	42.0	40.9	43.1	
			4. まったくほめない	15.3	18.3	12.0	
			2. 道で泣いている、小さい子のめんどうをみてあげたら	1. とてもたくさんほめる	20.5	20.5	20.5
			2. かなりほめる	27.9	25.7	30.2	
			3. 少しほめる	36.8	36.4	37.3	
			4. まったくほめない	14.8	17.4	12.0	
			3. 近所の人に会ったとき、自分から頭を下げてあいさつをしたら	1. とてもたくさんほめる	13.7	12.9	14.5
			2. かなりほめる	21.8	21.5	22.2	
			3. 少しほめる	39.2	37.4	41.1	
			4. まったくほめない	25.3	28.2	22.2	
			4. 知らない人から電話があったとき、きちんと話ができたなら	1. とてもたくさんほめる	13.2	12.8	13.6
			2. かなりほめる	21.3	20.0	22.8	
			3. 少しほめる	31.9	31.2	32.7	
4. まったくほめない	33.6	36.0	30.9				
5. 言われなくても、食事作りのお手伝いをしたら	1. とてもたくさんほめる	17.8	15.5	20.3			
2. かなりほめる	25.5	23.1	28.1				
3. 少しほめる	38.5	38.5	38.3				
4. まったくほめない	18.2	22.9	13.3				

資料2 基礎集計表

質問項目			全 体	性 別		
				男 子	女 子	
3	ほめ方	6. 言われなくても、部屋をきれいにしたら	1. とてもたくさんほめる	22.8	21.1	24.7
			2. かなりほめる	26.4	25.6	27.2
			3. 少しほめる	31.3	31.1	31.4
			4. まったくほめない	19.5	22.2	16.7
		7. 学校や塾のテストで100点をとったら	1. とてもたくさんほめる	33.4	30.5	36.5
			2. かなりほめる	30.0	29.8	30.3
			3. 少しほめる	27.0	26.8	27.1
			4. まったくほめない	9.6	12.9	6.1
		8. 言われなくても、自分から夜遅くまで勉強をしたら	1. とてもたくさんほめる	19.1	17.8	20.5
			2. かなりほめる	23.2	21.8	24.7
			3. 少しほめる	30.2	29.7	30.7
4. まったくほめない	27.5		30.7	24.1		
9. 運動会のかげっこや水泳で、1番の成績をとったら	1. とてもたくさんほめる	41.4	37.8	45.1		
	2. かなりほめる	31.4	32.3	30.5		
	3. 少しほめる	20.7	21.6	19.8		
	4. まったくほめない	6.5	8.3	4.6		
10. 作文コンクールで、全国1位になったら	1. とてもたくさんほめる	63.9	60.9	66.8		
	2. かなりほめる	21.1	21.5	20.9		
	3. 少しほめる	10.9	11.6	10.3		
	4. まったくほめない	4.1	6.0	2.0		
11. 下校のとき、傘のない友だちをわざわざ家まで送ってあげたら	1. とてもたくさんほめる	19.8	18.8	20.8		
	2. かなりほめる	28.2	27.5	28.8		
	3. 少しほめる	33.5	32.5	34.8		
	4. まったくほめない	18.5	21.2	15.6		
4	家の人の対応	1. 手伝いをしていて、お父さんの大事な茶碗を割ってしまったら	1. とても叱る	17.1	22.4	11.4
			2. 少し叱る	33.3	34.3	32.4
			3. 怒った顔をする	12.9	11.4	14.6
			4. 何も言わない	8.4	8.2	8.5
			5. なぐさめてくれる	28.3	23.7	33.1
		2. 親に頼まれてお使いに行き、5000円札を落としてしまったら	1. とても叱る	48.3	50.4	46.2
			2. 少し叱る	28.6	27.9	29.3
			3. 怒った顔をする	8.7	8.3	9.1
			4. 何も言わない	3.2	3.5	2.8
			5. なぐさめてくれる	11.2	9.9	12.6
		3. 一生懸命勉強したのに、テストで名前を書き忘れて0点をとったら	1. とても叱る	14.5	15.3	13.5
			2. 少し叱る	22.7	21.0	24.4
			3. 怒った顔をする	9.7	9.8	9.7
			4. 何も言わない	15.4	18.7	12.0
			5. なぐさめてくれる	37.7	35.2	40.4
		4. ボール投げをしていて、よその家のガラスを割ってしまったら	1. とても叱る	57.9	59.3	56.6
2. 少し叱る	26.6		24.8	28.5		
3. 怒った顔をする	7.6		7.8	7.3		
4. 何も言わない	2.3		2.9	1.6		
5. なぐさめてくれる	5.6		5.2	6.0		
5	家での叱られ方	母親	1. 口で注意される	70.4	70.0	71.1
			2. とときどきある	16.3	16.3	16.3
			3. たまにある	10.1	9.9	10.3
			4. あまりない	2.6	2.9	2.1
			5. 一度もない	0.6	0.9	0.2

資料2 基礎集計表

質問項目		全 体	性 別				
			男 子	女 子			
5	家 で の 叱 ら れ 方	母 親	2. 言葉で、長い時間ずっと、くどくどと叱られる	1. よくある	15.5	17.0	14.0
				2. ときどきある	14.2	14.6	13.9
				3. たまにある	17.2	18.0	16.4
				4. あまりない	33.8	31.9	35.5
				5. 一度もない	19.3	18.5	20.2
		3. どなられる	1. よくある	26.0	27.4	24.5	
			2. ときどきある	20.7	22.0	19.4	
			3. たまにある	22.1	22.7	21.4	
			4. あまりない	22.8	20.7	25.1	
			5. 一度もない	8.4	7.2	9.6	
		4. 無視される	1. よくある	8.1	8.9	7.1	
			2. ときどきある	8.5	9.4	7.4	
			3. たまにある	13.6	13.6	13.7	
			4. あまりない	26.8	27.9	25.8	
			5. 一度もない	43.0	40.2	46.0	
	5. たたかれたり、体罰される	1. よくある	12.8	15.1	10.2		
		2. ときどきある	10.1	11.7	8.4		
		3. たまにある	17.3	18.5	15.9		
		4. あまりない	29.7	29.1	30.3		
		5. 一度もない	30.1	25.6	35.2		
	父 親	1. 口で注意される	1. よくある	49.5	50.4	48.3	
			2. ときどきある	20.9	21.2	20.6	
			3. たまにある	15.4	15.5	15.4	
			4. あまりない	11.9	10.4	13.5	
			5. 一度もない	2.3	2.5	2.2	
2. 言葉で、長い時間ずっと、くどくどと叱られる		1. よくある	11.2	14.2	8.0		
		2. ときどきある	12.3	15.1	9.2		
		3. たまにある	12.7	14.0	11.3		
		4. あまりない	31.2	28.3	34.2		
		5. 一度もない	32.6	28.4	37.3		
3. どなられる	1. よくある	26.1	31.4	20.3			
	2. ときどきある	17.7	19.9	15.3			
	3. たまにある	18.7	19.5	17.9			
	4. あまりない	22.5	17.6	27.9			
	5. 一度もない	15.0	11.6	18.6			
4. 無視される	1. よくある	4.3	6.4	2.0			
	2. ときどきある	3.7	4.8	2.5			
	3. たまにある	7.9	9.0	6.7			
	4. あまりない	23.3	24.0	22.6			
	5. 一度もない	60.8	55.8	66.2			
5. たたかれたり、体罰される	1. よくある	13.0	17.7	8.0			
	2. ときどきある	8.9	10.7	7.1			
	3. たまにある	13.5	16.2	10.6			
	4. あまりない	25.6	25.7	25.6			
	5. 一度もない	39.0	29.7	48.7			
6	家 で の ほ め ら れ 方	母 親	1. 「えらかったね、よかったね」と言ってくれる	1. よくある	37.5	31.9	43.8
				2. ときどきある	27.3	27.3	27.2
				3. たまにある	20.4	21.6	19.1
				4. あまりない	11.7	14.9	8.2
				5. 一度もない	3.1	4.3	1.7

資料2 基礎集計表

質問項目		全 体	性 別				
			男 子	女 子			
6	家 での ほ め ら れ 方	母 親	2. よその人の前であなたを自慢する	1. よくある	2.4	2.1	2.7
			2. とくどきある	5.3	5.2	5.5	
			3. たまにある	8.0	6.7	9.5	
			4. あまりない	31.1	29.1	33.3	
			5. 一度もない	53.2	56.9	49.0	
		3. ごほうびにどこかへ連れて行ってくれる	1. よくある	9.3	7.6	11.1	
		2. とくどきある	14.2	13.8	14.6		
		3. たまにある	21.3	19.4	23.3		
		4. あまりない	29.9	28.1	32.0		
		5. 一度もない	25.3	31.1	19.0		
		4. お金をくれたり、欲しい物を買ってくれる	1. よくある	9.0	8.6	9.5	
		2. とくどきある	16.3	14.9	17.7		
	3. たまにある	25.5	25.5	25.5			
	4. あまりない	27.6	26.8	28.6			
	5. 一度もない	21.6	24.2	18.7			
	父 親	1. 「えらかったね、よかったね」と言ってくれる	1. よくある	35.0	28.4	41.9	
		2. とくどきある	23.1	22.7	23.6		
		3. たまにある	19.8	20.8	18.8		
		4. あまりない	15.8	19.7	11.6		
		5. 一度もない	6.3	8.4	4.1		
2. よその人の前であなたを自慢する		1. よくある	2.2	2.1	2.2		
2. とくどきある		3.3	3.4	3.2			
3. たまにある		6.7	7.0	6.4			
父 親	3. ごほうびにどこかへ連れて行ってくれる	1. よくある	15.9	14.0	17.9		
	2. とくどきある	17.4	16.3	18.5			
	3. たまにある	23.5	21.6	25.7			
	4. あまりない	22.2	22.1	22.3			
	5. 一度もない	21.0	26.0	15.6			
	4. お金をくれたり、欲しい物を買ってくれる	1. よくある	15.6	14.4	16.9		
	2. とくどきある	17.6	16.9	18.3			
	3. たまにある	23.6	23.5	23.8			
7	父 母 の 叱 り 方 に つ い て	1. 叱りすぎだと思う	1. いつもそう思う	12.5	13.5	11.5	
			2. とくどきそう思う	36.8	36.0	37.4	
			3. あまりそう思わない	35.4	32.9	38.2	
			4. ぜんぜんそう思わない	15.3	17.6	12.9	
		2. 親の機嫌が悪いから、叱られていると思う	1. いつもそう思う	9.3	9.9	8.6	
			2. とくどきそう思う	27.0	26.2	28.0	
			3. あまりそう思わない	30.8	29.3	32.5	
			4. ぜんぜんそう思わない	32.9	34.6	30.9	
	3. うるさいと思う	1. いつもそう思う	18.5	19.0	18.0		
		2. とくどきそう思う	30.7	28.6	32.9		
		3. あまりそう思わない	28.9	29.6	28.1		
		4. ぜんぜんそう思わない	21.9	22.8	21.0		
	4. かえて、やる気がなくなる	1. いつもそう思う	20.4	20.5	20.4		
		2. とくどきそう思う	30.1	28.6	31.7		
		3. あまりそう思わない	26.4	24.7	28.3		
		4. ぜんぜんそう思わない	23.1	26.2	19.6		

資料2 基礎集計表

質問項目		全体	性別			
			男子	女子		
7	父母の叱り方について	5. 親がひどく、にくらしくなる	1. いつもそう思う	11.0	11.8	10.1
			2. ととききそう思う	18.1	19.2	16.9
			3. あまりそう思わない	30.0	28.1	31.9
			4. ぜんぜんそう思わない	40.9	40.9	41.1
		6. 叱られても、仕方がないと思う	1. いつもそう思う	25.1	26.8	23.2
			2. ととききそう思う	42.9	39.8	46.2
			3. あまりそう思わない	19.8	20.1	19.5
			4. ぜんぜんそう思わない	12.2	13.3	11.1
		7. これから叱られないようにがんばろうと思う	1. いつもそう思う	34.5	31.7	37.5
			2. ととききそう思う	40.1	39.7	40.5
			3. あまりそう思わない	16.0	17.0	14.9
			4. ぜんぜんそう思わない	9.4	11.6	7.1
8	父母のほめ方について	1. 何をしても、あまりほめてもらえない	1. いつもそう思う	6.6	7.9	5.2
			2. ととききそう思う	22.5	23.6	21.3
			3. あまりそう思わない	38.3	37.3	39.3
			4. ぜんぜんそう思わない	32.6	31.2	34.2
		2. そのときの親の気分でほめたり、ほめなかったりする	1. いつもそう思う	8.4	9.8	6.8
			2. ととききそう思う	25.4	26.4	24.2
			3. あまりそう思わない	29.6	28.5	30.7
			4. ぜんぜんそう思わない	36.6	35.3	38.3
		3. わざとらしいほめ方をする	1. いつもそう思う	5.2	5.2	5.1
			2. ととききそう思う	11.8	12.7	10.7
			3. あまりそう思わない	24.0	25.5	22.5
			4. ぜんぜんそう思わない	59.0	56.6	61.7
		4. 次も、もっとほめられるようにがんばろうと思う	1. いつもそう思う	30.6	26.7	34.8
			2. ととききそう思う	36.5	34.7	38.5
			3. あまりそう思わない	20.9	23.7	17.8
			4. ぜんぜんそう思わない	12.0	14.9	8.9
9	母親	叱るとき、子どもの言い訳や理由を聞いてくれるか	1. 何も聞いてくれないで、叱ることが多い	30.9	33.0	28.7
			2. なぜそんなことをしたか、ていねいに聞いてくれることが多い	69.1	67.0	71.3
10	父親	叱るとき、子どもの言い訳や理由を聞いてくれるか	1. 何も聞いてくれないで、叱ることが多い	29.3	32.9	25.5
			2. なぜそんなことをしたか、ていねいに聞いてくれることが多い	70.7	67.1	74.5
11	よそのおとなに叱られたこと	1. 道路でふざけていて、よその人に叱られたこと	1. 何度もある	3.8	5.9	1.5
			2. 2～3回ある	16.0	21.6	9.8
			3. 1回くらいある	31.2	32.1	30.3
			4. 一度もない	18.8	16.6	21.2
			5. そういうことはしたことがない	30.2	23.8	37.2
		2. バスや電車の中でさわいで、よその人に叱られたこと	1. 何度もある	2.1	3.3	0.8
			2. 2～3回ある	5.6	7.7	3.2
			3. 1回くらいある	16.4	18.6	14.1
			4. 一度もない	29.4	26.0	33.2
			5. そういうことはしたことがない	46.5	44.4	48.7
		3. よその家の花や果物をとって、叱られたこと	1. 何度もある	0.9	1.4	0.4
			2. 2～3回ある	2.0	3.3	0.6
			3. 1回くらいある	5.2	6.0	4.4
			4. 一度もない	16.1	15.7	16.5
			5. そういうことはしたことがない	75.8	73.6	78.1

資料2 基礎集計表

質問項目		全体	性別			
			男子	女子		
11	よそのおとなに叱られたこと	4. よその家のガラスを割って、叱られたこと	1. 何度もある	0.8	1.4	0.1
			2. 2～3回ある	1.0	1.8	0.1
			3. 1回くらいある	5.2	8.6	1.5
			4. 一度もない	11.6	14.1	8.9
			5. そういうことはしたことがない	81.4	74.1	89.4
		5. 小さい子や友だちとけんかをして、相手の親があなたの家に文句を言いに来たこと	1. 何度もある	0.6	1.2	0.0
			2. 2～3回ある	2.8	4.1	1.3
			3. 1回くらいある	7.7	10.3	4.8
			4. 一度もない	27.9	30.6	24.9
			5. そういうことはしたことがない	61.0	53.8	69.0
		6. 遅くなるまで外で遊んでいて、よそのおとなに叱られたこと	1. 何度もある	1.2	2.0	0.4
			2. 2～3回ある	2.5	3.4	1.5
			3. 1回くらいある	7.3	8.0	6.6
			4. 一度もない	32.9	34.2	31.4
			5. そういうことはしたことがない	56.1	52.4	60.1
7. 友だちをいじめたりけがをさせたりして、親と一緒に相手の家にあやまりに行ったこと	1. 何度もある	1.0	1.4	0.5		
	2. 2～3回ある	2.1	3.8	0.4		
	3. 1回くらいある	9.9	15.5	3.9		
	4. 一度もない	23.7	27.6	19.4		
	5. そういうことはしたことがない	63.3	51.7	75.8		
12	1. 道を聞かれて、教えてあげてほめられたこと	1. 何度もある	12.6	13.6	11.4	
		2. 2～3回ある	32.3	32.0	32.5	
		3. 1回くらいある	30.7	28.1	33.6	
		4. 一度もない	14.1	14.6	13.7	
		5. そういうことはしたことがない	10.3	11.7	8.8	
	2. 電車の中で、お年寄りに席をゆずってほめられたこと	1. 何度もある	10.0	11.0	9.0	
		2. 2～3回ある	22.8	20.0	25.9	
		3. 1回くらいある	28.3	28.1	28.4	
		4. 一度もない	21.8	21.5	22.1	
		5. そういうことはしたことがない	17.1	19.4	14.6	
	3. 近所の人に、きちんとあいさつができてほめられたこと	1. 何度もある	23.5	20.0	27.3	
		2. 2～3回ある	23.7	20.8	26.9	
		3. 1回くらいある	24.8	26.5	22.8	
		4. 一度もない	23.1	26.1	19.9	
		5. そういうことはしたことがない	4.9	6.6	3.1	
	4. 駅の人やお店の人と、きちんと話ができてほめられたこと	1. 何度もある	10.2	9.6	10.9	
		2. 2～3回ある	15.9	14.0	18.0	
		3. 1回くらいある	26.6	26.7	26.6	
		4. 一度もない	34.2	36.0	32.1	
		5. そういうことはしたことがない	13.1	13.7	12.4	
	5. 近所の家の前での掃除や雪かきなどをしてあげてほめられたこと	1. 何度もある	8.3	7.4	9.2	
		2. 2～3回ある	15.2	15.1	15.2	
		3. 1回くらいある	18.6	16.9	20.4	
		4. 一度もない	23.6	24.6	22.6	
5. そういうことはしたことがない		34.3	36.0	32.6		
6. 道路や公園などを掃除してほめられたこと	1. 何度もある	5.0	4.6	5.5		
	2. 2～3回ある	7.8	6.8	9.0		
	3. 1回くらいある	14.7	13.4	16.0		
	4. 一度もない	26.6	26.1	27.1		
	5. そういうことはしたことがない	45.9	49.1	42.4		

資料2 基礎集計表

質問項目			全体	性別			
				男子	女子		
12	よそのおとなに ほめられたこと	7. お使いなどお手伝いをしていてほめられたこと	1. 何度もある	24.7	21.3	28.5	
			2. 2～3回ある	26.3	24.8	27.8	
			3. 1回くらいある	22.3	22.8	21.7	
			4. 一度もない	17.3	19.7	14.8	
			5. そういうことはしたことがない	9.4	11.4	7.2	
		8. よその小さい子と遊んであげてほめられたこと	1. 何度もある	24.3	20.8	28.0	
			2. 2～3回ある	22.1	18.6	26.1	
			3. 1回くらいある	19.8	20.3	19.2	
			4. 一度もない	17.1	19.5	14.5	
			5. そういうことはしたことがない	16.7	20.8	12.2	
13	父母の助言	母親	1. ショックなことがあって学校へ行きたくないと思うとき、役立つことを言ってくれるか	41.3	38.6	44.5	
			2. ショックなことがあって学校へ行きたくないと思うとき、役立つことを言ってくれるか	37.3	36.9	37.7	
			3. ショックなことがあって学校へ行きたくないと思うとき、役立つことを言ってくれるか	10.2	13.1	6.9	
			4. ショックなことがあって学校へ行きたくないと思うとき、役立つことを言ってくれるか	3.6	4.3	2.8	
			5. ショックなことがあって学校へ行きたくないと思うとき、役立つことを言ってくれるか	7.6	7.1	8.1	
	父親	1. ショックなことがあって学校へ行きたくないと思うとき、役立つことを言ってくれるか	32.5	32.2	32.9		
		2. ショックなことがあって学校へ行きたくないと思うとき、役立つことを言ってくれるか	36.5	36.4	36.6		
		3. ショックなことがあって学校へ行きたくないと思うとき、役立つことを言ってくれるか	14.4	16.5	12.1		
		4. ショックなことがあって学校へ行きたくないと思うとき、役立つことを言ってくれるか	4.6	5.4	3.8		
		5. ショックなことがあって学校へ行きたくないと思うとき、役立つことを言ってくれるか	12.0	9.5	14.6		
14	親が好きか	母親	1. とても好き	59.8	49.4	71.0	
			2. わりと好き	16.6	19.4	13.5	
			3. ふつう	20.5	27.4	13.1	
			4. あまり好きでない	1.7	2.2	1.2	
			5. 嫌い	1.4	1.6	1.2	
15	親が好きか	父親	1. とても好き	55.6	48.2	63.3	
			2. わりと好き	18.4	20.8	15.9	
			3. ふつう	19.7	23.6	15.6	
			4. あまり好きでない	4.1	4.5	3.6	
			5. 嫌い	2.2	2.9	1.6	
16	どんな人か	母親	1. こわい	1. とてもそう	9.5	11.3	7.7
				2. 少しそう	32.0	29.4	34.8
				3. あまりそうでない	36.5	36.2	36.6
				4. ぜんぜんそうでない	22.0	23.1	20.9
			2. うるさい	1. とてもそう	11.0	12.3	9.6
				2. 少しそう	25.7	27.0	24.2
				3. あまりそうでない	36.3	33.6	39.2
				4. ぜんぜんそうでない	27.0	27.1	27.0
			3. イライラする	1. とてもそう	8.4	8.7	8.0
				2. 少しそう	16.9	17.2	16.6
				3. あまりそうでない	35.0	34.2	35.8
				4. ぜんぜんそうでない	39.7	39.9	39.6
			4. やさしい	1. とてもそう	48.6	41.5	56.3
				2. 少しそう	38.0	41.7	34.0
				3. あまりそうでない	9.8	12.2	7.2
				4. ぜんぜんそうでない	3.6	4.6	2.5
			5. よくあなたの世話をしてくれる	1. とてもそう	52.2	46.3	58.5
				2. 少しそう	31.7	35.7	27.4
				3. あまりそうでない	12.8	14.1	11.5
				4. ぜんぜんそうでない	3.3	3.9	2.6

資料2 基礎集計表

質問項目			全 体	性 別		
				男 子	女 子	
17	父 親 人 か	1. こわい	1. とてもそう	16.2	20.0	12.0
			2. 少しそう	28.9	30.3	27.5
			3. あまりそうでない	28.6	26.4	31.0
			4. ぜんぜんそうでない	26.3	23.3	29.5
		2. うるさい	1. とてもそう	10.6	13.5	7.6
			2. 少しそう	17.9	18.7	17.0
			3. あまりそうでない	35.3	33.4	37.3
			4. ぜんぜんそうでない	36.2	34.4	38.1
		3. イライラする	1. とてもそう	9.6	11.1	8.0
			2. 少しそう	14.4	15.8	12.9
			3. あまりそうでない	30.8	30.0	31.7
			4. ぜんぜんそうでない	45.2	43.1	47.4
		4. やさしい	1. とてもそう	52.4	44.8	60.5
			2. 少しそう	33.8	36.9	30.4
			3. あまりそうでない	10.1	12.9	7.2
			4. ぜんぜんそうでない	3.7	5.4	1.9
		5. よくあなたの世話をしてくれる	1. とてもそう	39.5	36.4	42.8
			2. 少しそう	30.0	30.3	29.7
			3. あまりそうでない	22.8	24.4	21.1
			4. ぜんぜんそうでない	7.7	8.9	6.4
18	両 親 と の 関 係	1. 食事のとき、みんなでよく話をする	1. とてもそう	49.3	45.0	54.0
			2. 少しそう	35.0	36.1	33.7
			3. あまりそうでない	12.1	14.5	9.5
			4. ぜんぜんそうでない	3.6	4.4	2.8
		2. 学校であったことをみんなできよく話をする	1. とてもそう	32.8	26.6	39.5
			2. 少しそう	33.8	31.1	36.7
			3. あまりそうでない	22.6	27.7	17.1
			4. ぜんぜんそうでない	10.8	14.6	6.7
		3. あなたの気持ちや考えていることを親はわかってくれる	1. とてもそう	33.8	30.1	38.0
			2. 少しそう	40.2	39.4	40.9
			3. あまりそうでない	19.9	23.2	16.4
			4. ぜんぜんそうでない	6.1	7.3	4.7
		4. あなたの言うことを親はゆっくり聞いてくれる	1. とてもそう	34.9	32.7	37.3
			2. 少しそう	42.7	42.4	43.0
			3. あまりそうでない	18.1	20.4	15.6
			4. ぜんぜんそうでない	4.3	4.5	4.1
		5. あなたのことを親は大事にしてくれていると思う	1. とてもそう	62.3	56.4	68.6
			2. 少しそう	28.5	32.7	24.0
			3. あまりそうでない	7.3	8.4	6.2
			4. ぜんぜんそうでない	1.9	2.5	1.2
19	自 分 の タ イ プ	1. 明るい	1. とてもそう	49.7	48.5	51.1
			2. 少しそう	38.4	36.1	40.9
			3. あまりそうでない	10.1	13.3	6.6
			4. ぜんぜんそうでない	1.8	2.1	1.4
		2. 友だちが多い	1. とてもそう	50.6	49.2	52.3
			2. 少しそう	35.8	35.3	36.2
			3. あまりそうでない	11.7	13.3	10.0
			4. ぜんぜんそうでない	1.9	2.2	1.5
		3. 外で遊ぶのが好き	1. とてもそう	53.4	57.2	49.2
			2. 少しそう	30.0	27.7	32.5
			3. あまりそうでない	12.9	11.1	14.9
			4. ぜんぜんそうでない	3.7	4.0	3.4

資料2 基礎集計表

質問項目			全 体	性 別		
				男 子	女 子	
19	自分のタイプ	4. 運動が得意	1. とてもそう	34.3	39.7	28.5
			2. 少しそう	26.4	26.2	26.7
			3. あまりそうでない	27.9	23.7	32.5
			4. ぜんぜんそうでない	11.4	10.4	12.3
		5. 勉強が得意	1. とてもそう	12.9	15.4	10.1
			2. 少しそう	33.2	33.8	32.5
			3. あまりそうでない	38.4	34.9	42.4
			4. ぜんぜんそうでない	15.5	15.9	15.0
20	ひどい叱られ方をしたこと	1. たたかれたこと	1. たくさんある	20.6	25.3	15.5
			2. 何回がある	37.9	38.5	37.2
			3. 1回くらいある	25.8	23.9	27.9
			4. 一度もない	15.7	12.3	19.4
		2. つねられたこと	1. たくさんある	8.0	11.1	4.6
			2. 何回がある	14.6	17.1	11.9
			3. 1回くらいある	18.2	19.8	16.4
			4. 一度もない	59.2	52.0	67.1
		3. 家の外に出されたこと	1. たくさんある	7.5	10.4	4.4
			2. 何回がある	19.8	22.1	17.3
			3. 1回くらいある	27.5	28.6	26.3
			4. 一度もない	45.2	38.9	52.0
		4. 食事を食べさせてもらえなかったこと	1. たくさんある	2.6	3.6	1.5
			2. 何回がある	5.1	6.8	3.3
			3. 1回くらいある	12.2	13.5	10.8
			4. 一度もない	80.1	76.1	84.4
		5. ずっと口をきいてもらえなかったこと	1. たくさんある	4.2	4.7	3.6
			2. 何回がある	6.8	8.2	5.3
			3. 1回くらいある	21.1	22.1	20.0
			4. 一度もない	67.9	65.0	71.1
21	どれくらい叱られるか	1. ひどすぎる	22.0	22.5	21.4	
		2. 自分が悪かったのだから仕方がない	63.1	61.0	65.6	
		3. あのくらい叱られてよかった	14.9	16.5	13.0	